

東京放射線

総会特集号

2013年5月
Vol.60 No.706

5月号綴じ込み
“書面表決” 投函のお願い



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

登録事項変更届

研修会等申込書

入会申込書

入会のご案内

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第2回定期総会資料

お知らせ
第16地区研修会

平成24年度学術奨励賞・新人奨励賞

第11回ペイシエントケア学術大会

第49回きめこまかな生涯教育

第22回日暮里塾ワンコインセミナー

総会
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第2回（通期第64回）定期総会

巻頭言
老舗と歴史 葛西一隆

平成25年度 スローガン

一、チーム医療の推進
二、地球環境と調和した医療技術の向上
三、生涯教育・専門教育の推進

2013年
MAY

CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	4
巻頭言 老舗と歴史	5
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第2回（通期第64回）定期総会	6
会告2 第22回日暮里塾ワンコインセミナー	7
会告3 第49回きめこまかな生涯教育	8
会告4 第11回バイシエントケア学術大会	9
会告5 平成24年度学術奨励賞・新人奨励賞	10
お知らせ1 第16地区研修会（TART・SART地区合同勉強会）	11
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第2回（通期第64回）定期総会資料	
・第1号議案 平成24年度事業報告（案）	12
I 事業報告	
II 活動報告	
III 活動報告（庶務概要）	
・第2号議案 平成24年度決算報告（案）	32
・第3号議案 平成24年度監査報告	41
・第4号議案 平成25年度事業計画（案）	42
I 総括	
II 定款に基づく本会の事業	
III 地区事業計画	
・第5号議案 平成25年度予算（案）	51
バイブライン	
・第6回胃X線画像読影勉強会	53
・第24回胃X線検査レベルアップセミナー	53
・第30回中央医療技術専門学校同窓会総会・中央放射線学会	54
・平成25年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	55
・第16回日本臨床救急医学会総会・学術総会	56
平成24年度第11回理事会報告	57
平成25年2・3月期会員動向	60
入会のご案内	62
入会申込書	64
研修会等申込書	65
登録事項変更届	66

Column & Information

・第2回定期総会 準備委員名簿	58
・学術講演会・研修会等の開催予定	59
・求人情報	67

休載のお知らせ

5月号は総会資料掲載の特集号のため「連載 誌上講座 歯・顎顔面検査法」、「こえ（印象記）」、「イエローケーキ」、「NEWS ひろい読み」は休載いたします。

編集委員会

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

巻 頭 言



老舗と歴史

副会長 葛西一隆

老舗とは、大辞泉によりますと、

1. 代々続いて同じ商売をしている格式・信用のある店
2. 先祖代々の家業を守り継ぐこと

とあります。また、老舗の読み方は「しにせ」でも「ろうほ」でも間違いのないそうです。

昨今、この「老舗」がキーワードとなる事件がニュース報道を賑わせています。みんなに愛され多くの著名人も利用した老舗旅館の倒産。あの銭形平次も実在すれば姐さんと一緒に通ったであろう姿がイメージされる、今で言う「行列のできる店」神田の蕎麦屋も歴史ある家屋を焼失してしまいました。これらの伝統がわれわれに与えてくれる想いを鑑みるにつけ、残念と言うほかありません。これらの一日も早い復旧とさらなる進展を願わずにはいられません。

さて、老舗と呼ばれるには何年続ければそうなるのでしょうか。

日本老舗サイトでは、

1. 創業より百年以上経過しており、本会主旨に沿う店
2. 百年には満たない三代以上継承している店
3. 上記にはあたらないが、日本老舗サイトが特に推薦する店

とあります。すなわち老舗とは、先代の手法を仕似せて、代々のなりわいを守り継いできた店と定義され、裏を返せば、永年客を大切することを忘れずに、愛される商売のやり方を貫き、世のため人のためになっている家業を継続してきた店・事業ということになるのでしょうか。

これらの視点から見ると、公益社団法人東京都診療放射線技師会も「老舗」の一つではないかと思えます。本技師会も名称等は変わりましたが、本年5月で設立63周年を迎え、現会長（社長）は12代目となります。

われわれ職能団体は、営利目的の組織ではないため老舗と呼ぶにはふさわしくありませんが、

1. 発足当時から続く診療放射線業務の発展に関わる事業を行う信用のある団体
2. 言うまでもなく先輩諸氏の築き上げた事業を踏襲し発展させている団体

つまり、永続と繁栄の二大条件にかなう世のため人のために貢献する団体ではないでしょうか。われわれ診療放射線技師は、常にこの原点に立ち、診療放射線技術の向上・発展と放射線障害防止に努め、都民の医療・保健の維持および健康への啓発、医療人としての資質の向上と職業倫理の高揚に努めていかなければならないと考えます。

公益社団法人への移行から1年が過ぎ、“石の上にも3年”はもとより、30年、300年続く「老舗」として、毎年約2,000名の新たな診療放射線技師が生まれていく中、多くの会員を迎え入れ、職能団体である東京都診療放射線技師会の歴史を積み上げていくべくあらゆる努力を惜しまない所存であります。そして、文頭で述べたような残念な出来事ではなく「老舗」としての責務を称えるような報道に浴したいものです。

会 告 1

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第2回定期総会（通期第64回）開催の件

記

開 催 日：平成25年6月22日（土）

受 付：16時00分～

総 会：16時30分～

会 場：日暮里サニーホール

〒116-0014 荒川区東日暮里5-50-5 ホテルラングウッド4階

交 通：JR日暮里駅南口より徒歩1分

議 事：第1号議案 平成24年度事業報告（案）

第2号議案 平成24年度決算報告（案）

第3号議案 平成24年度監査報告

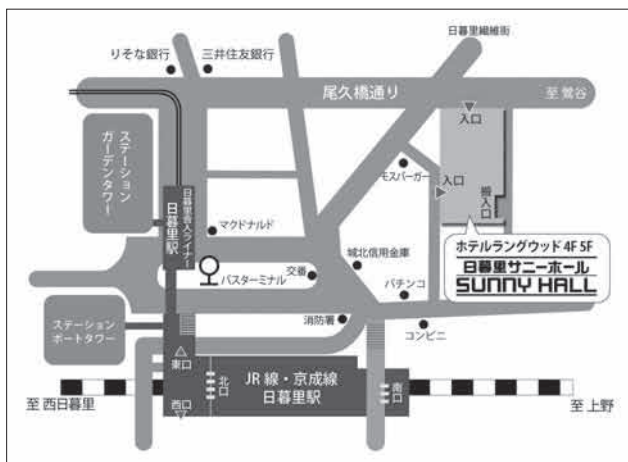
第4号議案 平成25年度事業計画（案）

第5号議案 平成25年度予算（案）

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一



http://www.sunny-move.com/sunny/images/map_sunny.jpg

お願い

1. ご出席の際は、必ず総会資料である会誌「東京放射線」5月号をご持参してください。また、「第2回定期総会議事の表決について」および「委任状」を同封いたしました。総会に出席できない方は、必要事項をご記入の上、必ず投函をお願いします。
2. 定期総会議事について書面表決された方は、「委任状」へのご記入は不要です。
3. 本会告をもって案内状と致します。多数の会員のご出席をお願いします。

第22回 日暮里塾ワンコインセミナーのお知らせ

テーマ「医療現場における電子書籍の理想像」

講師：株式会社ジェイマックスシステム コンテンツ事業部 部長
出塚 豪記 氏

今回は電子書籍を取り上げます。電子書籍の普及は目覚ましいものがあり、今後は医療の現場への期待も大きいと思います。

医療現場での電子書籍の在り方、展望についてお話をいただき、理解を深めて行きたいと思います。また実際にipad（10台ほど）を持ち込んで実演も予定しておりますので、聞いて触って体感してください。多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成25年5月16日（木）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員500円、非会員3,000円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んでください。※当日参加も可能です。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



第49回きめこまかな生涯教育 テーマ「注腸X線検査」

今回は注腸X線検査を取り上げて3日間勉強したいと考えております。注腸X線検査は診療放射線技師が担当している施設が多いかと思いますが、上部消化管検査に比べると講習会などは少なく、知識を伸ばす機会が少ない状況にあります。

今回は一線で活躍されている方々に動画なども含めて、集中的に講義をしていただく予定です。
多くの方の参加をお待ちしております。

～プログラム～

6月12日（水）	「動画を用いた標準的な注腸X線検査法」	埼玉県立がんセンター 放射線技術部	腰塚慎二
	「動画を用いた精密注腸X線検査法—表面型病変と炎症性腸疾患」	社会保険中央総合病院 放射線部	奥田圭二
6月13日（木）	「前処置と画像評価」	社会保険中央総合病院 放射線部	田中 靖
	「装置の精度管理（被ばく含む）」	東京勤労者医療会東葛病院 放射線科	安藤健一
6月14日（金）	「動画を用いたS状結腸と回盲部の撮影法」	社会保険中央総合病院 放射線部	奥田圭二
	「動画を用いた大腸がんの描出方法と特殊な造影法（ガストロ注腸・Stoma 造影）」	埼玉県立がんセンター 放射線技術部	腰塚慎二

※第49回きめこまかな生涯教育は日本診療放射線技師会生涯教育4.5カウント付与

記

日 時：平成25年6月12日（水）、13日（木）、14日（金） 19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：40名（先着順）

受 講 料：会員3,000円 非会員10,000円（当日徴収）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んでください。

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第11回ペイシェントケア学術大会

テーマ 「安全・安心な小児医療の提供」

開催日：平成25年6月22日(土)

開催場所：日暮里サニーホール（ホテルラングウッド4階）

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5

参加費：診療放射線技師1,000円

他職種及び一般参加者・新卒かつ新入会員 無料

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

後援：東京都（予定）・荒川区（予定）公益社団法人東京都看護協会・
一般社団法人東京都病院薬剤師会・社団法人東京都理学療法士会

～プログラム～

- 9:55～ 主催者挨拶
- 10:00～11:00 テーマ演題「小児検査と被ばく低減の取り組み」
1. X線撮影における被ばく低減の取り組み
 2. 小児透視検査における被ばく低減の試み
 3. CT撮影における被ばく低減への取り組み
 4. 当院における小児カテーテル検査における被ばく低減の取り組み
- 11:05～12:20 パネルディスカッション「安全な小児医療への取り組み～医療安全の観点から～」
1. 安全な小児医療へ向けて国立成育医療研究センターにおける取り組み
 2. 理学療法士の立場から
 3. 診療放射線技師の立場から
- 12:25～13:10 ランチョンセミナー「私的な医療情報システムの発展の歴史」
- 13:50～14:20 公益社団法人東京都診療放射線技師会 活動報告紹介
1. 広報委員会 活動報告
 2. 城南支部（支部・地区）の活動と紹介
 3. 災害対策委員会 活動報告
- 14:25～15:10 教育講演
- 「小児医療現場」（仮題）
- 15:15～16:15 特別講演（都民公開講座）
- 「小児の薬の飲ませ方 ～そのコツと管理～」

平成24年度学術奨励賞

学術教育委員会

演 題 名 磁性体器材による外科用イメージ透視画像の歪みの検討

発 表 者 池田麻依

共同発表者 佐伯寿夫、平木仁史、原子 満、原田 崇

施 設 名 帝京大学医学部附属溝口病院

発表学会 第28回日本診療放射線技師学術大会 17エックス線検査 画像評価 演題番号99

【受賞理由】

手術器材による移動型外科用イメージ画像の歪み現象は意外と知られておらず、発生原因に関しては材質や使用状況などが挙げられます。一方、明確な検討がされたことはなく不透明な部分が多かったのですが、今回の検討により歪の原因が明確になりました。対策も多方面から幅広く情報を取り入れて検討しており、大変有意義な研究報告と思われます。今後、装置間の違いなどさらなる研究報告を期待し学術奨励賞を授与いたします。

平成24年度学術新人賞

学術教育委員会

演 題 名 放射線技師による読影業務の検討の試み

発 表 者 佐藤 彩¹

共同発表者 秋山 忍¹、池田祐一¹、武田恭彦¹、佐藤 稔¹、川久保衣里子¹、
坂元真理¹、半田麻美¹、小山智美²、寺田正巳²

施 設 名 聖路加国際病院附属クリニック・予防医療センター¹、聖路加国際病院²

発表学会 第28回日本診療放射線技師学術大会 14読影 演題番号81

【受賞理由】

厚生労働省医政局長通知を受け、診療放射線技師の読影の取り組みがなされている施設が多く見られます。そのようななか、診療放射線技師による読影が診断に有意であるところを示したことは、有効性を裏付ける理由の一つになり、診療放射線技師の読影が常用的になるための先駆的な研究と思われます。今後、さらなる分析を重ねた研究報告を期待し、学術新人賞を授与いたします。

第16地区研修会 (TART・SART地区合同勉強会)

このたび、公益社団法人東京都診療放射線技師会（TART）第16地区と、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（SART）第2支部において合同の勉強会を開催いたします。

ご多忙中とは存じますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成25年6月20(木) 18時30分～（受付開始：18時00分）

場 所：所沢市保健センター 2F ホール
所沢市上安松1224-1

受講料：500円

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい。

問い合わせ：東放技 第16地区委員長 工藤年男

E-MAIL：area16@tart.jp

春日部市立病院 放射線科

TEL：048-735-1261（内7322）

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

TEL・FAX：03-3806-7724

以上

プログラム（敬称略）

- | | | |
|---|-------------------------------|---------|
| 1. 製品紹介（18:30～18:45） | 司会：石心会狭山病院 | 上野 浩輝 |
| 「SOMATOM Definition Flash の秘密～すべて教えます～」 | | |
| | シーメンス・ジャパン株式会社CT ビジネスマネージメント部 | 吉田 博和 |
| 2. 一般研究発表（18:45～19:15） | 座長：防衛医科大学校病院 | 近藤 忠晴 |
| | 石心会狭山病院 | 上野 浩輝 |
| | 「当院における下肢動脈MRA の検討」 | 東大宮総合病院 |
| | 「デジタルマンモグラフィ用画像処理システムの有用性の検討」 | 笹原 重治 |
| | 上尾中央総合病院 | 市浦 京子 |
| | 「Low Dose って何??」 | |
| | シーメンス・ジャパン株式会社CT ビジネスマネージメント部 | 吉田 博和 |
| 3. 特別講演（19:15～20:15） | 座長：防衛医科大学校病院 | 小池 正行 |
| 「一般撮影への取り組み方～撮影方法のコツを得る」 | | |
| | 春日部市立病院放射線科 | 工藤 年男 |

第1号議案 平成24年度事業報告（案）

総括

平成24年度は、政権交代や山中伸弥・京大教授のノーベル生理学医学賞受賞など記憶に残る年であり、本会にとっても大きな変革・記念すべき年であった。4月1日には公益社団法人への移行・登記し、5月の総会で組織名の変更（東京都放射線技師会→東京都診療放射線技師会）を行った。また、10月1日には東京都より功労者表彰（知事表彰）を受賞した。団体として受賞するのは本会初のことであった。

一昨年（2011年）の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所災害による放射能汚染に対し、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動が功労と評価されたことが主要な理由である。そのほかにも災害直後の被災地避難所におけるサーベイ活動や、東京電力福島第一原子力発電所5・6号機救急医療室への人材派遣、被ばく相談なども受賞理由となった。このことは、本会が放射線の専門職能団体として公益性を持って社会貢献できた証である。

本会は、昨年の活動・経験を語り継ぎ風化させないために、平成24年度より「災害対策委員会」を設置した。従来の放射線管理士部会の活動理念も合わせ、公益社団法人日本診療放射線技師会と連携をとりながら万々の事態に備え、この度の表彰を本会公益活動の励みとし、更なる決意を持って一層の社会的責任を果たしていく決意である。

なお、同件に関して、厚生労働省からも「感謝状」を頂いた。会員・役員の皆さまの多大なるご協力にあらためて感謝申し上げる。

一昨年11月に「診療放射線技師の業務範囲拡大」について答申があり、CT・MRI検査などにおける留置針からの造影・抜針・止血、下部消化管検査におけるネラトンチューブの挿入・造影剤の注入など、実態として診療放射線技師が担っていた一部の医行為について「診療の補助」として法的根拠が付加され、RI関連装置なども「政令で定める装置」として明確に業務範囲に位置付けられることになった。前政権による政局の混乱により未だ国会通過を見ていないが、取り扱える範囲が広がるということは、職能としての責任も一層明確・重大になるということでもある。このことによる国民の安全・安心な医療のために必要な研修・講習などについても、日本診療放射線技師会と連携しながら推進した。

経済対策、TPP交渉参加、外交、領土問題なども政権交代により新展開を迎えつつある。本会も平成24年度はスローガンとして 1) チーム医療の推進、2) 地球環境と調和した画像診断技術の向上、3) 生涯教育・専門教育の推進、を掲げて活動を展開してきた。

また、「がん対策推進基本計画」「チーム医療推進」「医療安全」「生涯教育」「緊急被ばく及び医療被ばく」「技師法見直し」などにおける各種研究・学習を推進し、関係各団体・監督官庁などへの要望を行った。

私達は、安心・安全そして納得できる医療技術の提供を求められている。常に最先端の医療技術を学び、Evidence（根拠）に基づいた医療技術＝EBMを提供する必要がある。EBMとは、①臨床的・科学的に確認されている。②施設・設備・時間などの制約を考慮している。③患者さん個別の事情や意思を尊重した総合的判断に基づいている。ということである。昨年度も、各種認定技師・専門技師の育成を関連団体と連携しながら推進し、本部または各支部・地区主催の各種講演会、セミナー、勉強会を開催した。

今年度も今まで以上に都民・国民のために会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆さま方のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます次第である。

I 事業報告

1. 診療放射線技術の向上に関する調査・研究および指導に関する事業

1) 第10回ペイシェントケア学術大会

開催日時：平成24年5月26日（土）9時55分～14時20分

開催場所：ホテルラングウッド（東京都荒川区）

大会テーマ：「災害医療」

講師：シンポジウム 「災害時の支援活動～東日本大震災から1年～

我々は何が出来たのか…そしてこれから…」

廣岡幹子 公益社団法人東京都看護協会

上道文昭 東京医科大学病院

鈴木哲司 一般社団法人日本救急救命士協会

大内幸敏 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

教育講演 「救急医療と災害医療におけるチーム医療」

船曳知弘 済生会横浜市東部病院

セミナー 「シーメンス3T MRI の最新装置とその技術」

宇根田宏徳 シーメンス・ジャパン株式会社

「東日本大震災後に被災地へ導入した小型ドクターカーについて」

浅井英里子 GEヘルスケア・ジャパン株式会社

特別講演 「あの大震災が考えさせたこと」

似鳥俊明 杏林大学医学部放射線医学教室教授

参加人数：会員109名（診療放射線技師94名、一般15名）

2) 第11回サマーセミナー

開催日時：平成24年8月25日（土）15時00分～18時00分

開催場所：東京医科大学病院 教育棟5階臨床講堂

テーマ：「上部消化管検査」

講師：「高濃度硫酸バリウム製剤の特性」

竹内修平 株式会社伏見製薬所

「発泡剤～その組成と発泡特性について」

山本 学 共成製薬株式会社

「胃X線バリウム検査におけるリスクマネジメント」

前田英彦 堀井薬品工業株式会社

「解剖と生理」

金子英利 東京都がん検診センター

「基準撮影法について（動画による説明）」

稲原祐加子 東京都がん検診センター

「変形胃などの撮影のポイント（動画による説明）」

萩原弘之 東京都がん検診センター

「追加撮影のポイント」

高嶋優子 東京都がん検診センター

参加人数：会員90名（診療放射線技師82名、一般8名）

3) 第11回ウインターセミナー

開催日時：平成25年1月26日（土）15時00分～18時00分

開催場所：東京医科大学病院 教育棟5階臨床講堂

テ ー マ：「MRI装置の安全性の再考」

講 師：「MRI入室時の安全管理体制の紹介」

中井信彰 東邦大学医療センター大橋病院

野中孝志 公立福生病院

大山秀王 三井記念病院

江積孝之 慈生会野村病院

「条件付きMRI対応ペースメーカーについて」

柏 徹雄 日本メドトロニック株式会社

「吸引事故防止に関する取り組み」

梅原一浩 GEヘルスケア・ジャパン株式会社

「歯科用磁性体アタッチメントの安全性」

長谷川みかぜ 日本大学歯学部歯科補綴学教室「講座

「MRI事故を防ぐために」

土橋俊男 日本医科大学病院

参加人数：72名（診療放射線技師64名、一般8名）

4) 第15回メディカルマネジメント

開催日時：平成24年11月15日（木）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テ ー マ：「診療放射線技師の労働環境」

講 師：矢野敬一 東京大学医学部附属病院 放射線部技師長

参加人数：40名（診療放射線技師40名）

5) 平成24年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」

（第10回日暮里塾ワンコインセミナー同時開催）

開催日時：平成24年5月13日（日）9時00分～17時15分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会、公益社団法人日本診療放射線技師会

講 師：エチケット・マナー講座 大室正巳 東京通信病院

社会人講座 大室正巳 東京通信病院

感染対策講座（講義） 市川重司 公立福生病院

感染対策講座（実習） 市川重司 公立福生病院

技師会活動紹介 野口幸作 東京臨海病院

市川重司 公立福生病院

安全対策講座 江田哲男 東京都済生会中央病院

胸部単純撮影座 野口幸作 日放技教育委員

入会案内 野口幸作 東京臨海病院

参加人数：51名（会員4名、非会員47名）

6) きめこまかな生涯教育

(1) 第46回きめこまかな生涯教育

開催日時：平成24年6月13日（水）～15日（金）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テ ー マ：「デジタルマンモグラフィの基礎と品質管理」

講 師：石川光雄 神奈川乳房画像研究会

参加人数：29名（診療放射線技師29名）

(2) 第47回きめこまかな生涯教育

開催日時：平成24年10月10日（水）～12日（金）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「医用画像」

講師：井原完有 国立がん研究センター中央病院

参加人数：10名（診療放射線技師10名）

(3) 第48回きめこまかな生涯教育

開催日時：平成25年1月29日（火）、30日（水）、2月1日（金）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「CT検査技術 臨床編」

講師：「CT撮影技術総論」 庄司友和 東京慈恵会医科大学附属柏病院

「心臓CT－冠動脈」 砂岡史生 国立国際医療研究センター病院

「CTコロノグラフィ」 鈴木雅裕 国立がん研究センター中央病院

「最新技術CT－逐次近似法 Dual Energy」 佐々木公祐 GEヘルスケア・ジャパン（株）

参加人数：31名（診療放射線技師31名）

7) 第12回（公社）東京都診療放射線技師会・（公社）日本放射線技術学会東京部会合同学術講演会

開催日時：平成24年9月13日（木）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「診療放射線技師による読影補助を考える」

講師：加藤京一 昭和大学藤が丘病院技師長

高田維茂 国家公務員共済組合連合会三宿病院 診療技術部長

参加人数：102名（診療放射線技師95名、一般7名）

8) 第5回MRI集中講習会

開催日時：平成25年2月9日（土）14時00分～18時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

講師：「原理（基礎）および安全管理」

宮崎 功 杏林大学医学部付属病院

「パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）」

高橋順士 虎の門病院

「アーチファクト」

野中孝志 公立福生病院

「脂肪抑制」

北川 久 東京慈恵会医科大学附属第三病院

参加人数：43名（診療放射線技師43名）

9) 日暮里塾ワンコインセミナー

(1) 第9回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成24年4月24日（火） 19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「放射線技師の英会話～とっさのひとこと～」

講師：渡邊真弓 河北総合病院

参加人数：47名（診療放射線技師47名）

(2) 第10回日暮里塾ワンコインセミナー（フレッシュャーズセミナー同時開催）

開催日時：平成24年5月13日（日）9時00分～17：15

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「新入会促進セミナー」

講師：8) 平成24年度診療放射線技師のための「フレッシュャーズセミナー」に掲載

参加人数：51名（会員4名、非会員47名）

(3) 第11回日暮里塾ワンコインセミナー（第11地区研修会同時開催）

開催日時：平成24年5月17日（木）19時00分～20時30分

開催場所：東邦大学医療センター大橋病院 教育棟臨床講堂

テーマ：「放射線技師の英会話～とっさのひとこと～」

講師：渡邊真弓 河北総合病院

参加人数：47名（診療放射線技師40名、一般7名）

(4) 第12回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成24年6月30日（土）15時00分～18時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「視覚的評価法と結果のまとめ方」

講師：永井優一 国立がん研究センター中央病院

参加人数：12名（診療放射線技師12名）

(5) 第13回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成24年7月10日（火）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「最新インジェクター情報及び日常点検について」

講師：近藤政則 株式会社根本杏林堂

参加人数：29名（診療放射線技師29名）

(6) 第14回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成24年9月25日（火）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「クラウドPACSの動向」

講師：東山和夫 J-MAC

参加人数：30名（診療放射線技師30名）

(7) 第15回日暮里塾ワンコインセミナー（第1地区研修会同時開催）

開催日時：平成24年11月27日（火）19時00分～20時30分

開催場所：三井記念病院 隣住友商事ビル2階会議室

テーマ：「放射線被ばく」

講師：笹沼和智 日本医科大学多摩永山病院

参加人数：52名（診療放射線技師52名）

(8) 第16回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成24年12月18日（火）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「検体検査～生化学検査を中心に～」

講師：井上 淳 日本医科大学多摩永山病院中央検査室

参加人数：42名（診療放射線技師40名、一般2名）

(9) 第17回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成25年1月22日（火）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「学術教育が選んだ8演題」

講師：「当院の残胃撮影の現状と問題点－健診における撮影－」
田中 靖 社会保険中央総合病院
「MRI画像を用いた体脂肪測定を試み」
石神麻衣子 昭和大学病院
「JSGIファントムを用いた画質管理と最適化を試み」
川田尚孝 公益財団法人ライフ・エクステンション研究所附属永寿総合病院
「放射線技師による読影業務の試み」
佐藤 彩 聖路加国際病院附属クリニック・予防医療センター
「乳房X線撮影装置におけるCR使用時の自動露出制御管理について－日常管理－」
鈴木 勝 東京女子医科大学東医療センター
「マンモグラフィ用IPの輝度劣化方向依存性測定」
渡邊真弓 河北総合病院
「磁性体器材による外科用イメージ透視画像の歪みの検討」
池田麻依 帝京大学医学部附属溝口病院
「局所磁場不均一補正Sat Pat のMagnet Center, Off Centerの影響について」
大地直之 河北総合病院

参加人数：39名（診療放射線技師39名）

(10) 第18回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成25年2月21日（木）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「心電図－基礎と臨床－」

講師：高野小百合 社会医療法人河北医療財団河北総合病院

参加人数：47名（診療放射線技師44名、一般3名）

(11) 第19・20回日暮里塾ワンコインセミナー（連続開催）

開催日時：平成25年3月2日（土）15時00分～18時10分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「胸部一般撮影および腹部一般撮影」

第19回講師：中西章仁 杏林大学医学部付属病院

第20回講師：江田哲男 東京都済生会中央病院

参加人数：47名（診療放射線技師44名、一般3名）

(12) 第21回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成25年3月19日（火）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「感染対策」

講師：熊澤美紀子 独立行政法人労働者健康福祉機構東京労災病院 感染管理認定看護師

参加人数：18名（診療放射線技師17名、一般1名）

10) 支部研修会

(1) 城南支部研修会

開催日時：平成24年5月25日（金）18時50分～20時20分

開催場所：JR東京総合病院 講堂

テーマ：「Aiの重要性と今後の展望」

講師：山本正二 一般社団法人Ai情報センター 代表理事

参加人数：151名（診療放射線技師137名、一般14名）

(2) 城北支部研修会

開催日時：平成24年10月26日（金）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「現代葬儀考：お葬式とお墓は誰のため？」－しっかり生きるために、いま考えたいこと－

講師：柿田陸夫 ジャーナリスト

参加人数：48名（診療放射線技師46名、一般2名）

(3) 城東支部研修会

開催日時：平成24年11月2日（金）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「東京都のがん対策」

講師：松尾知成 東京都福祉保健局医療政策部医療政策課がん対策係長

参加人数：34名（診療放射線技師32名、一般2名）

(4) 多摩支部研修会

開催日時：平成25年2月22日（金）19時00分～20時30分

開催場所：国分寺労政会館 第4会議室

テーマ：「救急撮影（骨撮影のポイントと注意点）」

講師：市川重司 公立福生病院

参加人数：59名（診療放射線技師59名）

11) 地区研修会

(1) 第11地区研修会（第11回日暮里塾ワンコインセミナー同時開催）

開催日時：平成24年5月17日（木）19時00分～20時30分

開催場所：東邦大学医療センター大橋病院 教育棟臨床講堂

テーマ：「放射線技師の英会話～とっさのひとこと～」

講師：渡邊真弓 河北総合病院

参加人数：47名（診療放射線技師40名、一般7名）

(2) 第15地区研修会

開催日時：平成24年6月27日（水）18時55分～21時00分

開催場所：帝京大学医学部附属溝口病院 二子管理棟7階会議室

テーマ：「医用画像表示モニターの品質管理」

講師：油隆 寛 株式会社ナナオ営業1部メディカル課

参加人数：33名（診療放射線技師32名、一般1名）

(3) 第2地区研修会

開催日時：平成24年7月21日（土）16時00分～17時30分

開催場所：東京ベイ・浦安市川医療センター

テーマ：「東京ベイ・浦安市川医療センター見学会」

講師：三浦秀徳 東京ベイ・浦安市川医療センター 放射線室係長

参加人数：17名（診療放射線技師15名、一般2名）

(4) 第3地区研修会

開催日時：平成24年11月8日（木）19時00分～20時30分

開催場所：東京医科大学病院 教育棟5階臨床講堂

テーマ：「胸部CTティーチングファイル—ここがポイント—」

講師：朴 辰浩 東京医科大学病院放射線医学教室

参加人数：86名（診療放射線技師83名、一般3名）

(5) 第1地区研修会（第15回日暮里塾ワンコインセミナー同時開催）

開催日時：平成24年11月27日（火）19時00分～20時30分

開催場所：三井記念病院 隣住友商事ビル2階会議室

テーマ：「放射線被ばく」

講師：笹沼和智 日本医科大学多摩永山病院

参加人数：52名（診療放射線技師52名）

(6) 第6地区研修会

開催日時：平成24年11月30日（金）19時00分～20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テーマ：「CTの画像再構成～逐次近似法を理解しよう～」

講師：木暮陽介 順天堂大学医学部附属練馬病院

参加人数：71名（診療放射線技師71名）

(7) 第4地区研修会

開催日時：平成24年12月13日（木）19時00分～20時20分

開催場所：JR東京総合病院 講堂

テーマ：「今さら聞けない上部消化管撮影～基準撮影法と読影の補助について～」

講師：木村俊雄 神奈川県予防医学協会放射線技術部

参加人数：90名（診療放射線技師89名、一般1名）

(8) 第12地区研修会

開催日時：平成25年1月19日（土）19時00分～20時20分

開催場所：公立昭和病院 本館講堂

テーマ：「CT-Colonography」

講師：安藤伸夫 株式会社伏見製薬所開発推進

七戸金吾 アミン株式会社営業企画部マネージャー

参加人数：38名（診療放射線技師23名、一般15名）

(9) 第13地区研修会

開催日時：平成25年1月24日（木）19時00分～20時20分

開催場所：国分寺労政会館

テーマ：「一般撮影 肩関節 ～撮影手技と解剖～」

講師：市川重司 公立福生病院

参加人数：29名（診療放射線技師29名）

(10) 第5地区研修会（第18回スモールグループディスカッション）

開催日時：平成25年2月22日（金）19時00分～20時20分

開催場所：順天堂大学医学部附属順天堂医院 6号館第3カンファレンスルーム

テーマ：「認定技師を取得してBEFORE・AFTER」

講師：木暮陽介 順天堂大学医学部附属練馬病院

関本道治 東京大学医学部附属病院

林 利廣 東京大学医学部附属病院

稲毛秀一 順天堂大学医学部附属順天堂医院

澤田恒久 明理会中央総合病院

畑 純一 東京大学医学部附属病院

参加人数：45名（診療放射線技師45名）

(11) 第8地区研修会

開催日時：平成25年2月23日（土）15時30分～17時00分

開催場所：NTT東日本関東病院 4階2AB会議室

テーマ：「放射線業務における感染対策について」

講師：縣 智香子 NTT東日本関東病院感染対策推進室

参加人数：26名（診療放射線技師26名）

12) ボランティア活動（地球環境保全活動）

(1) 日暮里駅前清掃活動

開催日時：平成24年5月20日（日）10時00分～11時00分

活動場所：日暮里駅周辺

参加人数：2名（診療放射線技師1名、一般1名）

(2) 日暮里駅前清掃活動

開催日時：平成24年6月17日（日）10時00分～11時00分

活動場所：日暮里駅周辺

参加人数：6名（診療放射線技師4名、一般2名）

(3) 荒川河川敷清掃活動

開催日時：平成24年10月21日（日）10時00分～12時00分

活動場所：北区岩淵水門周辺

参加人数：13名（診療放射線技師6名、一般7名）

(4) 日暮里駅前清掃活動

開催日時：平成25年1月20日（日）10時00分～11時00分

活動場所：日暮里駅周辺

参加人数：7名（診療放射線技師5名、一般2名）

(5) 富津海岸清掃活動

開催日時：平成25年3月16日（土）～17日（日）

活動場所：富津岬荘周辺海岸

参加人数：11名（診療放射線技師11名）

(6) 日暮里駅前清掃活動

開催日時：平成25年3月20日（日）10時00分～11時00分

活動場所：日暮里駅周辺

参加人数：9名（診療放射線技師8名、一般1名）

13) 調査アンケートに関する事業

(1) 診療放射線技師認識度調査とOTAフェスタ出展ブースアンケート

調査内容：診療放射線技師という職業にたいする認知度調査（対象者：一般都民）

調査期間：平成24年11月3日～4日

調査対象施設数：600

有効回答数：503

回答率：83.8%

(2) 平成24年度公益社団法人東京都診療放射線技師会アンケート

調査内容：本会の公益社団法人化ならびに名称変更に対する意識調査

調査期間：平成24年11月21日～12月15日

調査対象施設数：400

有効回答数：109

回答率：27.3%

2. 放射線医療並びに放射線障害防止の普及啓発に関する事業

(1) 看護フェスタ2012

日時：平成24年5月13日（日）10時30分～16時30分

会場：新宿駅西口広場イベントコーナー

講演：「放射線について」 高坂知靖 佐々総合病院

内容：パネル展示（乳がん検診・放射線検査）、DVD放映（マンモグラフィ）、乳がんしこり体験

放射線検査説明、医療被ばく相談、資料配布数、講演
 来場者：91名（被ばく相談12名・検査相談5名・乳がんしこり体験74名）
 (2) ピンクリボンin東京2012
 日時：平成24年10月1日（月）17時00分～19時30分
 会場：都庁都民広場周辺
 テーマ：「乳がん予防のための普及啓発事業」
 内容：パネル展示（乳がん検診・放射線検査）、DVD放映（マンモグラフィ）、乳がんしこり体験
 放射線検査説明、医療被ばく相談、資料配布数
 来場者：36名（被ばく相談2名・検査相談2名・乳がんしこり体験32名）
 (3) 第7回総合健康づくりフェア
 日時：平成24年10月27日（土）10時00分～15時30分
 会場：町田市健康福祉会館 2階
 内容：パネル展示（乳がん検診・放射線検査）、DVD放映（マンモグラフィ）、乳がんしこり体験、
 放射線検査説明、医療被ばく相談、骨密度測定、資料配布数
 来場者：266名（骨密度測定179名、乳がんしこり体験83名、被ばく相談2名、検査相談2名）
 (4) 中央区健康福祉まつり2012
 日時：平成24年10月28日（土）10時00分～15時30分
 会場：中央区保健所 2階
 内容：パネル展示（乳がん検診・放射線検査）、DVD放映（マンモグラフィ）、乳がんしこり体験、
 放射線検査説明、医療被ばく相談、資料配布数
 来場者：103名（乳がんしこり体験99名、被ばく相談3名、進路相談1名）
 (5) OTAふれあいフェスタ2012
 日時：平成24年11月3日（土）～4日（日）10時00分～16時00分
 会場：平和島競艇場
 内容：パネル展示（乳がん検診・放射線検査）、DVD放映（マンモグラフィ）、乳がんしこり体験、
 放射線検査説明、医療被ばく相談、骨密度測定、資料配布数
 来場者：1112名（骨密度600名、しこり体験504名、相談8名）

3. 放射線機器および資材の改良に関する事業

各種学会や研修会に協力し、医用放射線機器の改良に努力し、もって都民に保健衛生向上に寄与した。

4. 関連団体との連携協調に関する事業

本会では関連機器団体との懇親と調和を目的として、“2013年新春のつどい”を開催した。

開催日：平成25年1月10日（木）18時30分～20時00分

会場：ホテルラングウッド（荒川区日暮里）

参加者：190名（診療放射線技師112名、診療放射線技師以外78名）

5. 図書印刷物の刊行物に関する事業

放射線技術関連学術雑誌「東京放射線」（月刊）を発行し、診療放射線技師・エックス線技師へ有償にて配布、放射線技術・学術の向上ならびに職業倫理の高揚を図った。また、全国の診療放射線技師養成校・放射線関連機関・団体および国立国会図書館ならびに放射線技師教育関係、各都道府県技師会に寄贈した。

誌名「東京放射線」月刊 昭和37年12月13日第三種郵便物認可

	発行状況	ページ数	発行年月日
第59巻	第4号（通巻694号）	44	H24.4.1
	第5号（通巻695号）	72	5.1
	第6号（通巻696号）	36	6.1
	第7号（通巻697号）	40	7.1
	第8号（通巻698号）	52	9.1
	第9号（通巻699号）	40	10.1
	第10号（通巻700号）	36	11.1
	第11号（通巻701号）	32	12.1
第60巻	第1号（通巻702号）	48	H25.1.1
	第2号（通巻703号）	32	2.1
	第3号（通巻704号）	32	3.1

主な掲載記事

- 1) 巻頭言……………11回
- 2) 東放技ニュース……………11回
- 3) NEWS 拾い読み……………11回
- 4) 行政まつりに関する記事……………3回
- 5) 定期総会議事録……………2回
- 6) 誌上講座 放射線治療……………2回
- 7) 誌上講座 歯・顎顔面検査法……………8回
- 8) 学術奨励賞論文……………1回
- 9) 特別講演会（抄）……………2回
- 10) 学術研修会・きめこまかな生涯教育に関する記事……………8回
- 11) 東京都診療放射線技師会行事に関する記事……………1回
- 12) 支部・地区活動報告に関する記事……………17回
- 13) 日本診療放射線技師会関連記事……………2回
- 14) パイプライン……………11回
- 15) 調査アンケートに関する報告……………2回
- 16) 東京都功労者表彰（団体表彰）受賞に関する記事……………1回
- 17) 公益法人移行に関する記事……………1回

その他、会員からの寄稿文など多数掲載

主な贈呈先

東京都総務局行政指導課、東京都衛生局医務部医務課、東京都郵政局郵政部事業課第二業務課、国立国会図書館、首都大学図書館、東京歯科大学図書館、慶応大学医学情報センター、駒澤大学図書館、（株）アンダーライ
ン、日本化学技術情報センター、公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人日本放射線技術学会、各道
府県放射線技師会、全国診療放射線技師養成機関など

6. その他、法人の目的達成に必要な事業

1) 本会活動の目標スローガンに基づく事業

- （一）チーム医療の推進
- （二）地球環境と調和した画像診断技術の向上
- （三）生涯教育・専門教育の推進

以上、スローガン達成のため特別委員会を設け活動した。

Ⅱ 活動報告

1. 三役・専門部

【平成24年4月】

- 1日(日)：公益社団法人登記関連打合会議／公益社団法人登記
- 2日(月)：第2回選挙管理委員会
- 3日(火)：日本医療科学大学入学式
- 5日(木)：中央医療技術専門学校入学式／第1回理事会／四谷監査法人との打ち合わせ／初校／経理事務作業
- 6日(金)：表彰における賞状・記念品発注
- 7日(土)：旭川放射線技術師会創立60周年記念式典・祝賀会／福利調査事務作業
- 9日(月)：城西放射線技術専門学校入学式／庶務事務作業
- 10日(火)：学術教育委員会
- 11日(水)：東京電子専門学校入学式／東洋公衆衛生学院入学式／看護協会と打ち合わせ／編集委員会／庶務事務作業
- 12日(木)：平成23年度期末監査準備
- 13日(金)：平成23年度期末監査準備
- 14日(土)：庶務事務作業（登記関連）
- 15日(日)：庶務事務作業（登記関連）
- 16日(月)：平成23年度期末監査準備／庶務事務作業
- 17日(火)：庶務事務作業
- 18日(水)：第1回業務執行委員会／第1回五役会／印刷会社と総会資料別冊の打ち合わせ
- 20日(金)：平成23年度期末監査／印刷会社と総会資料別冊の打ち合わせ
- 21日(土)：福利調査事務作業／青焼き
- 24日(火)：第9回日暮里塾ワンコインセミナー
- 26日(木)：第1回専門部委員会
- 29日(日)：福利厚生事業参加

【平成24年5月】

- 1日(火)：初校
- 8日(火)：経理事務
- 9日(水)：総会会場打ち合わせ／編集委員会／学術教育委員会
- 10日(木)：第2回理事会
- 11日(金)：広報委員会
- 13日(日)：フレッシュャーズセミナー・第10回日暮里ワンコインセミナー／看護フェスタ2012
- 14日(月)：総会準備
- 15日(火)：総会準備
- 16日(水)：第2回五役会
- 17日(木)：第11回日暮里ワンコインセミナー
- 19日(土)：第66回東京部会春季学術大会式典／東京部会新木学術担当訪問／総務・庶務委員会／総会準備／福利調査事務作業

- 21日(月)：資格審査委員会／青焼き
- 22日(火)：東京都病院薬剤師会総会懇親会／経理事務／総会準備／事務所倉庫整理
- 23日(水)：総務・庶務委員会／福利調査委員会／総会準備
- 24日(木)：災害医療センター訪問（災害対策委員会設置の件）
- 25日(金)：城南支部研修会／総会準備
- 26日(土)：公益社団法人第1 回定期総会／第3回理事会／第10 回ペイシエントケア学術大会
- 29日(火)：経理事務
- 31日(木)：第2回専門部委員会／代議員大会

【平成24年6月】

- 1日(金)：日放技創立65 周年記念式典・祝賀会
- 2日(土)：第72 回（公益法人第1回）日放技総会
- 4日(月)：S R委員会
- 7日(木)：第4回理事会／初校
- 8日(金)：福利調査事務作業
- 10日(日)：J J N同窓会総会
- 13日(水)：第46回きめこまかな生涯教育／編集委員会
- 14日(木)：第46回きめこまかな生涯教育
- 15日(金)：第46回きめこまかな生涯教育
- 17日(日)：日暮里駅前清掃活動
- 19日(火)：施設訪問（日医大病院・駿河台日大病院・杏雲堂病院・順天堂医院・東京都病院協会）／青焼き
- 20日(水)：第3回五役会／第6地区委員会
- 24日(日)：基礎技術講習会「一般撮影」
- 26日(火)：都内技師学校同窓会との懇談会
- 27日(水)：第15地区研修会／東京都看護協会公益移行記念式典／情報委員会／第10 地区委員会
- 28日(木)：第3回専門部委員会
- 29日(金)：広報委員会
- 30日(土)：第12回日暮里塾ワンコインセミナー／中央医療技術専門学校同窓会総会

【平成24年7月】

- 1日(日)：日本医療科学大学理事長・新藤先生叙勲祝賀会／城西放射線
- 2日(月)：第50回放射線同友会
- 4日(水)：施設訪問（国立国際医療センター・東京女子医大病院・都庁・J R東京総合病院・日赤医療センター・慶應大学病院）
- 5日(木)：第5回理事会
- 6日(金)：福利調査事務作業
- 7日(土)：福利調査事務作業
- 9日(月)：新任役員研修会
- 10日(火)：第13回日暮里塾ワンコインセミナー
- 12日(木)：学術教育委員会
- 18日(水)：第4回五役会／施設訪問（がん研有明病院・東京慈恵会病院・東京臨海病院）／情報委

員会

19日(木) : 第1地区情報交換会
 20日(金) : 編集委員会
 21日(土) : 南関東会長会議／第2地区研修会／福利調査事務作業
 26日(木) : 第4回専門部委員会
 27日(金) : 広報委員会
 28日(土) : 四谷監査法人から指導
 29日(日) : 多摩放射線技師連合会夏季情報交換会
【平成24年8月】
 1日(水) : 渉外事務作業(東京都功労者表彰)
 2日(木) : 渉外事務作業(東京都功労者表彰)／初稿
 9日(木) : 日暮らしの里解散会出席／編集委員会／学術教育委員会
 10日(金) : 施設訪問(国立東京医療センター・東邦大学医療センター大橋病院・虎の門病院・永寿総合病院・国立がん研究センター中央病院)／庶務事務作業
 12日(日) : 経理事務作業
 13日(月) : 広報委員会／経理事務作業
 15日(水) : 経理事務作業
 16日(木) : 経理事務作業／渉外事務作業(日放技表彰)／庶務事務作業
 17日(金) : 情報委員会／渉外事務作業(日放技表彰)／庶務事務作業
 18日(土) : 福利調査事務作業
 21日(火) : 青焼き
 25日(土) : 第11回サマーセミナー
 28日(火) : 学術大会登録作業
 30日(木) : 第5回専門部委員会／第16回日暮里塾ワンコインセミナー講師打合せ

【平成24年9月】

1日(土) : 学術大会登録集計
 2日(日) : 一般社団法人千葉県放射線技師会親睦会参加
 5日(水) : 施設訪問(聖路加国際病院・三井記念病院・慈恵大学葛飾医療センター・東京女子医大東医療センター)／第10地区委員会
 6日(木) : 第6回理事会／第16回日暮里塾ワンコインセミナー講師打合せ／初稿
 8日(土) : 日本放射線技師連盟三役会／経理事務作業
 9日(日) : 医用画像情報精度管理士移行講習会
 10日(月) : 広報委員会／渉外事務作業(日放技表彰対象者案内発送準備)
 11日(火) : 学術教育委員会／渉外事務作業(日放技表彰対象者案内発送)
 12日(水) : 編集委員会
 13日(木) : 第12回部会合同学術講演会
 18日(火) : 情報委員会／青焼き
 19日(水) : 第5回五役会／福利調査委員会
 20日(木) : 福利調査事務作業／案内板見積り依頼

21日(金) : 東京放射線治療技術研究会鍵担当
 25日(火) : 第14回日暮里塾ワンコインセミナー
 26日(水) : 第1回災害対策委員会／福利調査事務作業
 27日(木) : 第6回専門部委員会／第10回救急・災害医療研究会勉強会
 28日(金) : 第28回診療放射線技師総合学術大会
 29日(土) : 第28回診療放射線技師総合学術大会
 30日(日) : 第28回診療放射線技師総合学術大会

【平成24年10月】

1日(月) : 東京都功労者表彰授賞式
 2日(火) : 経理事務作業
 4日(木) : 第7回理事会／四谷監査法人との打ち合わせ／森理事御令室様通夜参列／案内サイン交換作業立会い／初稿
 5日(金) : 南関東・関東甲信越拡大大会会長会議／森理事御令室様告別式参列／広報委員会
 6日(土) : 平成24年度関東甲信越放射線技師学術大会
 7日(日) : 平成24年度関東甲信越放射線技師学術大会
 10日(水) : 第47回きめこまかな生涯教育
 11日(木) : 第47回きめこまかな生涯教育／編集委員会
 12日(金) : 第47回きめこまかな生涯教育／福利調査委員会
 13日(土) : 庶務事務作業
 14日(日) : 公益社団法人日本診療放射線技師会 第1回選挙委員会
 15日(月) : 日本医療科学大学にて講義
 16日(火) : 情報委員会
 17日(水) : 第6回五役会／第5地区委員会
 18日(木) : 学術教育委員会
 19日(金) : 東京放射線治療技術研究会鍵担当／青焼き
 20日(土) : 中間監査準備
 21日(日) : 荒川河川敷清掃活動／中間監査準備
 22日(月) : 平成24年度中間監査
 25日(木) : 第7回専門部委員会
 26日(金) : 城北支部研修会
 27日(土) : 第7回総合健康づくりフェア2012
 28日(日) : 中央区健康福祉まつり2012
 29日(月) : 総務・庶務委員会
 31日(水) : 新春座談会収録

【平成24年11月】

1日(木) : 第8回理事会／初校
 2日(金) : 城東支部研修会
 3日(土) : 第23回OTAふれあいフェスタ／庶務事務作業／PC復旧作業
 4日(日) : 第23回OTAふれあいフェスタ／日放技レントゲン週間イベント
 7日(水) : 施設訪問(立川共済病院・稲城市立病院、公立昭和病院、杏林大学病院)
 8日(木) : 第3地区研修会／第51回放射線同友会／編集委員会／学術教育委員会

11日（日）：研修会準備作業
 12日（月）：広報委員会／福利調査事務作業
 13日（火）：経理事務作業
 14日（水）：渉外事務作業（日放技30年、50年候補者申請書作成）
 15日（木）：第15回メディカルマネジメント研修会／渉外事務作業（日放技30年、50年候補者申請書作成）
 16日（金）：渉外事務作業（日放技30年、50年候補者申請書作成）／東京放射線治療技術研究会鍵担当
 17日（土）：福利調査事務作業
 19日（月）：情報委員会／渉外事務作業（日放技30年、50年候補者申請書発送）／情報委員会／アンケート発送作業／青焼き
 20日（火）：第41回東京CT テクノロジーセミナー鍵担当／学術誌12月号発送打ち合わせ
 21日（水）：第7回五役会
 22日（木）：第52回多摩放射線技師連合会総会・学会／編集委員会
 24日（土）：庶務事務作業／PC復旧作業
 26日（月）：第5地区委員会
 27日（火）：第1地区研修会・第15回日暮里塾ワンコインセミナー
 28日（水）：第6地区研修会準備
 30日（金）：第6地区研修会

【平成24年12月】

1日（土）：第9回理事会／第19回役員研修会
 3日（月）：役員研修会納金整理
 4日（火）：初稿
 5日（水）：施設訪問（慈恵第三病院、日医大多摩永山病院、町田市民病院）／経理事務作業
 7日（金）：表彰委員会準備／経理事務作業
 10日（月）：広報委員会／PC 復旧立会い
 11日（火）：編集委員会／渉外事務作業（日放技30年追加作業）
 12日（水）：第8回五役会／学術教育委員会／アンケート調査事務作業
 13日（木）：第4地区研修会
 14日（金）：第5地区委員会
 17日（月）：災害対策委員会／青焼き
 18日（火）：第16回日暮里塾ワンコインセミナー
 19日（水）：新春のつどい打ち合わせ
 20日（木）：第8回専門部委員会
 22日（土）：日暮里ステーションプラザタワー管理組合総会
 26日（水）：情報委員会
 28日（金）：事務所納め

【平成25年1月】

2日（水）：経理事務作業

4日（金）：事務所開き／経理事務作業
 8日（火）：HP更新作業
 9日（水）：第10回理事会／初稿
 10日（木）：2013年新春のつどい
 11日（金）：社団法人東京都臨床検査技師会「新春のつどい」出席／表彰委員会準備／庶務事務作業
 12日（土）：福利調査事務作業
 15日（火）：表彰委員会
 16日（水）：編集委員会／渉外事務作業（厚生労働大臣感謝状推薦書作成・東京都功労者表彰候補者へ関係資料送付）
 17日（木）：第9回五役会／学術教育委員会／渉外事務作業（厚生労働大臣感謝状推薦書都へ提出・厚生労働大臣感謝状推薦書作成）／HP 更新作業
 18日（金）：東京放射線治療技術研究会鍵担当
 19日（土）：第12地区研修会
 20日（日）：静脈注射（針刺しを除く）セミナー／日暮里駅前清掃活動
 21日（月）：広報委員会／庶務事務作業／青焼き
 22日（火）：第17 回日暮里塾ワンコインセミナー／HP 更新作業
 23日（水）：情報委員会／小原千葉県診療放射線技師会会長通夜参列／渉外事務作業（表彰委員会議事録作成送付）
 24日（木）：第13地区研修会
 25日（金）：第2地区委員会／公益法人協会セミナー参加／HP 更新作業
 26日（土）：第11回ウインターセミナー
 28日（月）：日放技代議員届け提出／渉外事務作業（東京都功労者表彰推薦書作成）
 29日（火）：第48回きめこまかな生涯教育
 30日（水）：第48回きめこまかな生涯教育／福利調査委員会／渉外事務作業（東京都功労者表彰電子版送付）
 31日（木）：第9回専門部委員会

【平成25年2月】

1日（金）：第48回きめこまかな生涯教育
 2日（土）：公益社団法人東京都歯科衛生士会「新春のつどい」出席／庶務事務作業
 5日（火）：渉外事務作業（勤続20年表彰案内発送および小野賞推薦依頼準備）
 6日（水）：経理事務作業
 7日（木）：理事会連絡会／渉外事務作業／初校
 8日（金）：小野賞推薦依頼
 9日（土）：南関東地域診療放射線技師会会長会議・教育委員会議／第5回MRI集中講習会／平成24年度第2回選挙管理委員会／福利調査事務作業
 13日（水）：編集委員会／学術教育委員会

- 14日（木）：事務所整備／渉外事務作業（東京都功労者推薦書確認作業）
- 15日（金）：庶務事務作業／渉外事務作業（東京都功労者推薦書訂正加筆後再提出）
- 16日（土）：平成24年度第2回医療画像情報精度管理士移行講習会
- 18日（月）：青焼き／広報委員会
- 19日（火）：S R委員会
- 20日（水）：第10回五役会／情報委員会
- 21日（木）：第18回日暮里塾ワンコインセミナー
- 22日（金）：多摩支部研修会／第5地区研修会
- 26日（火）：住友生命保険会社との打ち合わせ
- 27日（水）：施設訪問（東京医科大学病院・板橋中央総合病院・東京労災病院）／看護フェスタ打ち合わせ
- 28日（木）：第11回専門部委員会
- 【平成25年3月】
- 2日（土）：第19・20回日暮里塾ワンコインセミナー
- 6日（水）：東洋公衆衛生学院卒業式
- 7日（木）：第11回理事会／初校
- 8日（金）：城西放射線技術専門学校卒業式
- 11日（月）：広報委員会／経理事務作業
- 12日（火）：日本医療科学大学卒業式
- 13日（水）：第10地区委員会／編集委員会
- 14日（木）：中央医療技術専門学校卒業式
- 15日（金）：東京電子専門学校卒業式／渉外事務作業（東京都功労者表彰関係）
- 16日（土）：庶務事務作業
- 17日（日）：東京都柔道接骨師会診療放射線技師会第20回画像学術研修会
- 18日（月）：情報委員会／経理事務作業／青焼き
- 19日（火）：第21回日暮里塾ワンコインセミナー／第11回五役会
- 20日（水）：日暮里駅前清掃活動
- 21日（木）：武見敬三参議院議員と会談／第6地区委員会
- 23日（土）：福利調査事務作業
- 25日（月）：首都大学東京卒業式／福利調査事務作業
- 26日（火）：渉外事務作業（表彰委員会開催準備）
- 28日（木）：第11回専門部委員会
- 31日（日）：ピンクリボンウォーク2013

2. 各地区共通活動

総会・研修会・生涯教育学術大会・スポーツ大会などの東放技主催事業への協力。会員増員への啓発活動、会員名簿のメンテナンス、東放技会と会員間の案内活動などとその活動報告

3. 地区活動報告

【第1地区】地区委員会開催10回

◇城東支部合同委員会 平成24年4月11日（水）

◇城東支部研修会 平成24年11月2日（金）

参加人数：診療放射線技師32名、一般2名

◇地区研修会 平成24年11月27日（火）

参加人数：会員52名

◇地区情報交換会 平成24年7月19日（木）

参加人数：会員14名

◇地区情報交換会 平成25年1月29日（火）

参加人数：会員8名

【第2地区】地区委員会開催4回

◇城東支部合同委員会 平成24年4月11日（水）

◇城東支部研修会 平成24年11月2日（金）

参加人数：診療放射線技師32名、一般2名

◇地区研修会 平成24年7月21日（土）

参加人数：会員15名、非会員2名

◇地区情報交換会 平成24年7月21日（土）

参加人数：会員7名、非会員2名

◇地区情報交換会 平成25年1月25日（金）

参加人数：会員7名

【第3地区】地区委員会開催8回

◇地区研修会 平成24年11月8日（木）

参加人数：会員83名、一般3名

◇地区情報交換会 平成24年12月7日（金）

参加人数：会員8名

【第4地区】地区委員会開催7回

◇城南支部研修会 平成24年5月25日（金）

参加人数：診療放射線技師137名、一般14名

◇地区研修会 平成24年12月13日（木）

参加人数：会員72名、非会員17名、一般1名

◇地区情報交換会 平成24年8月23日（木）

参加人数：会員18名

【第5地区】地区委員会開催11回

◇城北支部合同委員会 平成24年4月25日（水）

◇城北支部研修会 平成24年10月26日（金）

参加人数：診療放射線技師46名、一般2名

◇地区研修会 平成25年2月22日（金）

参加人数：会員45名

◇日暮里駅前清掃活動 平成24年5月20日（日）

参加人数：診療放射線技師1名、一般1名

◇日暮里駅前清掃活動 平成24年6月17日（日）

参加人数：診療放射線技師4名、一般2名

◇荒川河川敷清掃活動 平成24年10月21日（日）

参加人数：診療放射線技師6名、一般7名

◇日暮里駅前清掃活動 平成25年1月20日（日）

参加人数：診療放射線技師5名、一般2名

◇富津海岸清掃活動 平成25年3月16日（土）～17日（日）

参加人数：診療放射線技師11名

◇日暮里駅前清掃活動 平成25年3月20日（日）

参加人数：診療放射線技師8名、一般1名
◇地区情報交換会 平成24年12月21日（金）
参加人数：会員11名、非会員1名
◇地区情報交換会 平成25年1月28日（月）
参加人数：会員9名
【第6地区】地区委員会開催7回
◇城北支部合同委員会 平成24年4月25日（水）
◇城北支部研修会 平成24年10月26日（金）
参加人数：診療放射線技師46名、一般2名
◇地区研修会 平成24年11月30日（金）
参加人数：会員52名、非会員19名
◇地区施設見学会 平成24年8月4日（土）
参加人数：会員6名
◇地区情報交換会 平成24年8月4日（土）
参加人数：会員11名
◇地区情報交換会 平成25年1月16日（水）
参加人数：会員11名
【第7地区】地区委員会開催6回
◇城東支部合同委員会 平成24年4月11日（水）
◇城東支部研修会 平成24年11月2日（金）
参加人数：診療放射線技師32名、一般2名
◇中央区健康福祉まつり2012 平成24年10月28日（土）
参加人数：会員10名（運営参加者）
【第8地区】地区委員会開催7回
◇城南支部研修会 平成24年5月25日（金）
参加人数：診療放射線技師137名、一般14名
◇地区研修会 平成25年2月23日（土）
参加人数：会員26名
◇地区情報交換会 平成24年7月21日（土）
参加人数：会員17名
◇OTAふれあいフェスタ2012
平成24年11月3日（土）～4日（日）
参加人数：会員27名（運営参加者）
【第9地区】地区委員会開催5回
◇地区情報交換会 平成24年11月28日（水）
参加人数：会員12名
【第10地区】地区委員会開催6回
【第11地区】地区委員会開催8回
◇城南支部研修会 平成24年5月25日（金）
参加人数：診療放射線技師137名、一般14名
◇地区研修会 平成24年5月17日（木）
参加人数：会員40名、一般7名
◇地区情報交換会 平成24年8月24日（金）
参加人数：会員8名、非会員1名
◇地区情報交換会 平成25年2月22日（金）
参加人数：会員6名、非会員1名
【第12地区】地区委員会開催4回
◇多摩支部研修会 平成25年2月22日（金）
参加人数：会員45名、非会員14名
◇地区研修会 平成25年1月19日（土）

参加人数：会員23名、一般15名
◇地区情報交換会 平成25年1月19日（土）
参加人数：会員7名、非会員1名
【第13地区】地区委員会開催4回
◇多摩支部研修会 平成25年2月22日（金）
参加人数：会員45名、非会員14名
◇地区研修会 平成25年1月24日（木）
参加人数：会員18名、非会員11名
◇第7回総合健康づくりフェアー 平成24年10月27日（土）
参加人数：会員11名（運営参加者）
【第14地区】地区委員会開催6回
◇城東支部合同委員会 平成24年4月11日（水）
◇城東支部研修会 平成24年11月2日（金）
参加人数：診療放射線技師32名、一般2名
◇地区情報交換会 平成24年9月1日（土）
参加人数：会員9名、非会員1名
【第15地区】地区委員会開催6回
◇城南支部研修会 平成24年5月25日（金）
参加人数：診療放射線技師137名、一般14名
◇地区研修会 平成24年6月27日（水）
参加人数：会員33名、一般1名
【第16地区】地区委員会開催7回
◇城北支部合同委員会 平成24年4月25日（水）
◇城北支部研修会 平成24年10月26日（金）
参加人数：診療放射線技師46名、一般2名

4. 支部別活動報告

城東支部研修会1回
城南支部研修会1回
城北支部研修会1回
多摩支部研修会1回

5. 特別委員会報告

【表彰委員会】委員会開催1回

◇主な活動内容

- 1) 東京都功労者表彰推薦
- 2) 保健文化賞推薦
- 3) 功労表彰者推薦

◇委員会

第1回委員会 平成25年1月15日（火）

【災害対策委員会】委員会開催3回

◇主な活動内容

- 1) 委員会の発足にあたり目標と活動内容の検討
- 2) 放射線災害時対応マニュアル策定
- 3) 緊急被ばく医療対応に関するアンケートの検討
- 4) 緊急被ばく医療研修会の実施検討

◇委員会

第1回委員会平成24年9月26日（水）

第2回委員会平成24年12月17日（月）

第3回委員会平成25年2月12日（火）

Ⅲ 活動報告（庶務概要）

1. 平成24年度会員数

平成24年度末

	会員数	増	減	差引
正会員	1777	107	120	△13
賛助会員	184	6	18	△12
計	1961	113	138	△25

※会費滞納退会者は除く

2. 平成24年度会員動向

新入会員（88名）

第1地区

松本 佳子 佐々木研究所附属杏雲堂病院
 久保田 昌義 青葉レントゲン（株）
 上野 紗弥佳 結核予防会第一健康相談所
 川内 隆 出版健康保険組合診療所
 梶本 昌志 三菱東京UFJ銀行健康センター

第2地区

服部 直樹 松翁会検診プラザ
 田村 悠佳梨 聖路加国際病院
 高嶺 翔大 聖路加国際病院
 松永 麻美 永寿総合病院

第3地区

深田 直樹 社会保険中央総合病院
 山本 進治 社会保険中央総合病院
 新島 友輝 慶應義塾大学病院
 町田 利彦 慶應義塾大学病院
 酒井 祐一 慶應義塾大学病院
 滝口 愛子 慶應義塾大学病院
 藤代 力也 慶應義塾大学病院

第4地区

龍尾 香朱美 JR 東京総合病院
 渡辺 秀樹 JR 東京総合病院
 永野 仁士 JR 東京総合病院
 坂本 雄季 JR 東京総合病院
 安富 蔵人 北里大学北里研究所病院
 成嶋 由理 芝病院
 緒方 達哉 日本赤十字社医療センター
 古林 基博 日本赤十字社医療センター
 福島 陽大 医療法人社団平郁会
 近藤 明美 せんぽ東京高輪病院
 岩沢 俊介 せんぽ東京高輪病院
 五十嵐 隆一 東京都済生会中央病院
 三浦 一純 愛育病院

第5地区

大塚 輝 順天堂大学医学部附属順天堂医院
 吉井 肇 明理会中央総合病院
 浅野 翔太 東京大学医学部附属病院

第6地区

浄法寺 勝幸 柳原病院
 徳間 秀彰 柳原病院
 神戸 健司 新葛飾病院

第7地区

添田 裕美 東京臨海病院
 岡部 奈穂子 城東社会保険病院
 宮本 寿彦 亀戸駅前クリニック

第8地区

高野 智弘 昭和大学病院
 島野 賢 昭和大学病院
 小平 彩加 昭和大学病院
 山中 理華子 昭和大学病院
 鈴木 克直 昭和大学病院
 増田 哲史 昭和大学病院
 勝又 翔太 昭和大学病院
 森田 峻輔 昭和大学病院
 平井 良明 昭和大学病院
 秋葉 泰紀 昭和大学病院
 岩村 航平 昭和大学病院
 白滝 貴文 社会保険蒲田総合病院
 栗林 健太郎 木村病院

第9地区

鈴木 学 日本大学医学部附属板橋病院
 吉成 剛志 日本大学医学部附属板橋病院
 小塚 雪乃 豊島病院
 中原 晶子 豊島病院
 草刈 良子 高島平中央総合病院

第10地区

猪鹿倉 伸一 島村記念病院
 荻原 昭世 河北総合病院
 石 優子 順天堂大学医学部附属練馬病院
 田中 佑季 立正佼成会附属佼成病院

第11地区

李 忠信 下北沢病院
 中村 友哉 三宿病院
 上林 聖 三宿病院
 大倉 慶子 自衛隊中央病院
 渡邊 智子 至誠会第二病院

第12地区

鈴木 堅三 東大和病院
 長谷川 肇 東大和病院
 長谷川 文教 東大和病院
 岡野 克俊 多摩済生病院

第13地区

長石 亜希子 野村病院
 松尾 秀一 康明会病院

橋本 亜樹生 東海大学医学部付属八王子病院
 吉岡 達也 杏林大学医学部付属病院
 熊谷 果南 公立福生病院
 北川 久 東京慈恵会医科大学附属第三病院
 岡村 翼 多摩南部地域病院
 田中 伸一 立川相互病院再
 白土 智之 永生病院
 藤井 快輝 町田市民病院
 加藤 奈美江
 桑原 亮太 東京医科大学八王子医療センター
 岡田 陽子 青梅市立総合病院
 塩谷 真記 公立阿伎留医療センター
 望月 佳子 野村病院
 鈴木 秀和 公立福生病院再

第14地区

飯村 正芳 千葉県がんセンター

第15地区

岡部 俊介 昭和大学藤が丘病院

転入 (19名)

第2地区

梅崎 好永 八重洲クリニック

第3地区

薮 晶子 国立国際医療研究センター戸山病院

第4地区

岡崎 孝晃 JR 東京総合病院

第5地区

中村 浩英 東京大学医学部附属病院

田口 喜美子

第6地区

田中 俊幸 苑田第一病院

佐藤 秋生 苑田第一病院

第7地区

宗田 幸 同愛記念病院

土居 裕子 深川ギャザリアクリニック

福地 竜也 深川ギャザリアクリニック

第8地区

若月 保志 旗の台脳神経外科病院

第10地区

大野 仁史 島村記念病院

長島 真希

第11地区

有賀 紀康 奥沢病院

第13地区

井口 晴美 北原国際病院

森松 加奈子

宮西 滝一

第14地区

小笠原 光邦 津田沼中央総合病院

転出 (15名)

第1地区

佐山 洋 文部科学省科学技術・学術政策局→青森県へ

第4地区

村本 武司 伊藤病院→愛知県へ

第6地区

***** →茨城県へ

第7地区

菊地 孝 江東病院→北海道へ

第8地区

深谷 弘樹 昭和大学病院→茨城県へ

新井 麻耶 昭和大学病院→神奈川県へ

友利 亮子 ナグモクリニック→沖縄県へ

第10地区

小代田 明美 練馬区医師会医療健診センター→埼玉県へ

宇根岡 香織 →広島県へ

第11地区

北向 浩二 自衛隊中央病院→青森県へ

第13地区

遊佐 敏行 田無病院→埼玉県へ

第14地区

池内 忠義 城西病院→神奈川県へ

第15地区

村上 晴海 自衛隊横須賀病院→神奈川県へ 賛

渡邊 藍 昭和大学藤が丘病院→神奈川県へ 賛

岡野 恵美子 富士吉田市立病院→山梨県へ 賛

編出入 (6名)

第14地区

熊谷 芳幸 順天堂大学医学部附属浦安病院 正→賛

菊地 克彦 重粒子医科学センター病院 正→賛

小笠原 光邦 津田沼中央総合病院正→賛

木村 陽一 東京ベイ浦安市川医療センター 正→賛

第15地区

高野 智弘 昭和大学横浜市北部病 正→賛

第16地区

中川 貴博 蓮田よつば病院 正→賛

退会 (81名)

第1地区

北川 まりも 佐々木研究所附属杏雲堂病院

井口 純

阿部 勝彦 駿河台日本大学病院

浅野 幸 社会福祉法人三井記念病院

第2地区

鈴木 勝 東京証券業健康保険組合診療所
 村野 剛志 国立がん研究センターがん予防・検診研究センター
 五味 志穂 国立がん研究センターがん予防・検診研究センター
 加賀谷 正義 永寿総合病院死去
 望月 潔 井上整形外科
 野原 孝幸 聖路加国際病院
 松浦 重雄 慈恵会医大晴海トリートメントクリニック
 寺岡 悟見 富士フイルム R I ファーマ株式会社

第3地区

横川 仁美 大久保病院
 藪 晶子 国立国際医療研究センター戸山病院
 栗原 浩次 三越診療所
 根岸 政明 ヘルスポート西新宿
 原 みゆき 楠樹記念クリニック
 羽生 裕二 東京女子医科大学病院
 藤村 拓未 東京女子医科大学病院

第4地区

佐々木 光蔵 せんぽ東京高輪病院
 渡辺 敬夫

第5地区

後藤 政実 東京大学医学部附属病院
 内田 茂 都立駒込病院
 小川 孝 日本医科大学附属病院
 小川 仁司 東京医科歯科大学医学部附属病院
 藤井 雅子 小石川東京病院
 高見 智子 順天堂大学医学部附属順天堂医院
 栗山 久雄 水野記念病院

第6地区

菊地 滋 等潤病院
 金井 徳昭 東京慈恵会医科大学附属青戸病院
 田中 利雄 葛飾区葛飾保健所

第7地区

飯田 江里子 同愛記念病院
 宗田 幸 同愛記念病院
 福岡 一浩 山口整形外科クリニック
 川崎 史緒理 都立墨東病院
 佐藤 亮 日本ユニシス診療所

第8地区

尾本 恵里 NTT 東日本関東病院
 田村 平太郎 空港グランドサービス⑭
 林田 信也 安田病院
 石井 一徳 昭和大学病院
 川西 真紀 東邦大学医療センター大森病院

舟木 勤 牧田総合病院

 福田 朋好 医療法人財団豊島健康診療センター

第9地区

木下 秀記 財団法人愛世会愛誠病院

第10地区

川田 真弓 社会福祉法人 慈生会 慈生会病院

第11地区

第12地区

大村 桃子 公立阿伎留医療センター
 鳥澤 啓子 独立行政法人東京病院
 鈴木 仁美 武蔵野総合クリニック
 雨宮 謙太 結核予防会複十字病院

第13地区

坂尾 武彦 榊原記念病院
 岩田 祐三 多摩総合医療センター
 楠本 伸弥 天本病院
 鈴木 博 東京慈恵会医科大学附属第三病院
 市川 芳正 東京慈恵会医科大学附属第三病院
 赤木 勤 慈秀病院
 市川 佐一 府中恵仁会総合病院
 石川 勉 国立病院東京災害医療センター
 橋本 亜樹生 東海大学医学部付属八王子病院
 星野 稔 都立府中病院
 小泉 幸雄 東京都保健医療公社東部地域病院
 鈴木 勝男

第14地区

山下 緑 賛
 白井 修平 東京慈恵会医科大学附属柏病院 賛
 吉田 昇二 ライフサイエンスクリニック
 藤森 鐘 江陽台病院
 八重沢 幸平 賛

第15地区

石下 洵 昭和大学横浜市北部病院
 近藤 秀典 つづき病院
 志賀 眞一 社会保健相模野病院
 立田 強 賛
 鈴木 久栄 第二国道病院 賛
 仲栄真 清信 聖マリアンナ医科大学病院 賛
 堀越 良雄 聖マリアンナ医科大学病院 賛
 松本 秀樹賛

第16地区

山田 明敏 賛
 小幡 祐樹 国立病院機構厚俣病院 賛

平成23年度 会費滞納退会 (36名)

第1地区

玄 鮮姫 医療法人社団あんしん会メディカルキューブ

第2地区

池田 信行 慈恵医大晴海トリトンクリニック

第3地区

小原 幸 大久保健診センター

大竹 紹貴 社会保険中央総合病院

十文字 賢逸 東京医科大学病院

木村 真理子 医療法人財団綜友会

第4地区

鈴木 敏光 JR東京総合病院

百瀬 俊博 JR東京総合病院

横田 廣巳 PL東京健康管理センター

第5地区

紫藤 哲夫 同友会春日クリニック第二

細村 亮太 東京北社会保険病院

森 克彦 日本医科大学付属病院

第6地区

宮田 泰匡 新葛飾病院

吉川 聖一 メディカルキューブ

井上 剛

大澤 一夫

湯島 裕子

第8地区

大宮 航 東邦大学医療センター大森病院

小島 治朗 東邦大学医療センター大森病院

武田 稔之 東邦大学医療センター大森病院

第9地区

古寺 洋 カスガメディカルクリニック

佐野 正幸 板橋中央総合病院

第10地区

金子 真紀 医療法人財団 河北総合病院

第11地区

覚張 哲雄 北神経内科平山記念クリニック

宮沢 幸司 自衛隊中央病院

第13地区

今井 元和 東京慈恵会医科大学附属第三病院

大塚 賢治 東京慈恵会医科大学附属第三病院

堀内 葉子 東京慈恵会医科大学附属第三病院

井上 健二 若生脳神経外科

深瀬 秀夫 日本医科大学多摩永山病院

古川 哲 東京医科大学八王子医療センター

第15地区

霞 徹也 昭和大学横浜市北部病院

森 輝雄 昭和大学藤が丘病院

名取 淳一 聖マリアンナ医科大学病院

齊藤 圭吾

賛

賛

賛

平川 征宏

3. 会議の回数

総会1回、理事会11回、専門部委員会11回

4. 主な発行資料および文章に関する事項

- (1) 定期総会開催について
- (2) 学術講演会など講師依頼について
- (3) 広告掲載のお願いについて
- (4) 表彰候補者の推薦について
- (5) 入会案内について

5. 平成24年度物故者に関する件 (敬称略)

平成24年度における物故会員は次の方々です。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

加賀谷 正義

6. 叙勲などに関する事項 (敬称略)

(1) 東京都功労者表彰 (知事表彰)

竹中 輝和 平成24年10月1日

(2) 東京都診療放射線技師会表彰

【学術奨励賞】

工藤 清宜 東京大学医学部附属病院22世紀医療センター

「技師読影に関しての検討－読影技師の傾向と診断に対する影響－」

【小野賞】

第1地区 工藤 英敏

第4地区 布施 章 東京慈恵会医科大学附属病院

【勤続20年表彰】

第1地区 竹内 務 三菱診療所

第2地区 藤田 賢一 永寿総合病院

第2地区 江田 裕介 聖路加国際病院

第3地区 布施屋一広 東京厚生年金病院

第4地区 山崎 真 日本赤十字社医療センター

第5地区 藤田 正義 東京大学医学部附属病院

第7地区 丹野 貴志 全国硝子業健康保険組合

第8地区 中西 雄一 NTT 東日本関東病院

第8地区 藤沢 達二 全日本労働福祉協会

第8地区 根本 恵子 NTT 東日本関東病院

第9地区 大久保智史 日本大学医学部附属板橋病院

第9地区 市川 篤志 日本大学医学部附属板橋病院

第9地区 川口 克己 都立墨東病院

第9地区 鈴木 秀明 浮間舟渡病院

第12地区 橋 康男 結核予防会 新山手病院

第13地区 荒井 一正 武蔵野赤十字病院

第13地区 千島 克夫 伊藤病院

第13地区 武田 聡司 国立病院機構災害医療センター

第14地区 關 義晃 東京慈恵会医科大学附属柏病院

第15地区 伊藤 美香 昭和大学横浜市北部病院

第16地区 菊地 勉 みさと健和病院

第2号議案 平成24年度決算報告（案）

貸 借 対 照 表

平成 25 年 3 月 31 日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,935,219	13,364,077	571,142
流動資産合計	13,935,219	13,364,077	571,142
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産	0	0	0
建物	31,321,470	31,995,050	△ 673,580
土地	32,749,000	32,749,000	0
特定資産合計	64,070,470	64,744,050	△ 673,580
(3) その他固定資産			
建物附属設備	2,292,374	2,490,127	△ 197,753
什器備品	1,412,347	1,253,215	159,132
電話加入権	10,300	10,300	0
その他固定資産合計	3,715,021	3,753,642	△ 38,621
固定資産合計	67,785,491	68,497,692	△ 712,201
資産合計	81,720,710	81,861,769	△ 141,059
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	130,000	40,000	90,000
未 払 金	0	70,000	△ 70,000
預 り 金	8,385	9,572	△ 1,187
流動負債合計	138,385	119,572	18,813
2. 固定負債			
長期借入金	12,415,000	14,635,000	△ 2,220,000
固定負債合計	12,415,000	14,635,000	△ 2,220,000
負債合計	12,553,385	14,754,572	△ 2,201,187
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄 付 金	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産合計	12,895,583	12,895,583	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(12,895,583)	(12,895,583)	(0)
2. 一般正味財産			
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(51,174,887)	(51,848,467)	673,580
正味財産合計	69,167,325	67,107,197	2,060,128
負債及び正味財産合計	81,720,710	81,861,769	△ 141,059

（注）附属明細書に記載すべき「基本財産及び特定資産の明細」は、財務諸表に対する注記の「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」の記載により、作成を省略している。

正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
正会員受取会費	16,704,500	18,550,500	△ 1,846,000
賛助会員受取会費	2,821,260	2,512,460	308,800
② 事業収益			
研修会事業収益	1,650,500	1,388,772	261,728
親睦会事業収益	2,756,200	1,702,200	1,054,000
③ 受取寄付金	0	0	0
④ 雑収益			
受取利息	3,188	2,836	352
広告収益	2,085,000	1,505,555	579,445
雑収益	848,072	638,103	209,969
経常収益計	26,868,720	26,300,426	568,294
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	1,087,050	1,094,560	△ 7,510
福利厚生費	11,762	0	11,762
会議費	4,325,512	3,964,423	361,089
旅費交通費	978,992	661,008	317,984
通信運搬費	2,259,711	2,309,284	△ 49,573
減価償却費	885,857	940,898	△ 55,041
消耗品費	662,394	373,595	288,799
修繕費	204,672	204,672	0
印刷製本費	6,479,099	5,321,301	1,157,798
光熱水料費	121,118	93,183	27,935
管理費	820,704	820,704	0
倉庫使用費	169,921	169,921	0
保険料	28,863	28,863	0
支払手数料	67,698	101,528	△ 33,830
租税公課	243,491	977,009	△ 733,518
慶弔費	206,345	301,545	△ 95,200
広報関連費	612,714	789,675	△ 176,961
研究助成費	50,000	50,000	0
原稿料	31,800	242,909	△ 211,109
諸謝金	570,828	394,440	176,388
図書費	9,576	44,445	△ 34,869
支払利息	214,126	247,549	△ 33,423
雑費	527,807	356,684	171,123
事業費計	20,570,040	19,488,196	1,081,844

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費			
給料手当	1,087,050	1,094,560	△ 7,510
福利厚生費	11,762	0	11,762
会議費	815,303	747,242	68,061
旅費交通費	69,828	47,147	22,681
通信運搬費	173,323	177,126	△ 3,803
印刷製本費	102,517	84,198	18,319
減価償却費	204,869	213,727	△ 8,858
消耗品費	165,598	93,399	72,199
修繕費	51,168	51,168	0
光熱水料費	30,279	23,296	6,983
管理費	205,176	205,176	0
倉庫使用費	41,759	41,759	0
保険料	7,216	7,216	0
支払手数料	16,925	25,382	△ 8,457
租税公課	175,009	583,491	△ 408,482
慶弔費	51,586	75,386	△ 23,800
支払報酬	894,900	1,410,550	△ 515,650
支払利息	53,531	61,887	△ 8,356
雑費	80,753	54,572	26,181
管理費計	4,238,552	4,997,282	△ 758,730
経常費用計	24,808,592	24,485,478	323,114
当期経常増減額	2,060,128	1,814,948	245,180
2. 経常外損益の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,060,128	1,814,948	245,180
法人税、住民税及び事業税	0	70,000	△ 70,000
当期一般正味財産増減額	2,060,128	1,744,948	315,180
一般正味財産期首残高	54,211,614	52,466,666	1,744,948
一般正味財産期末残高	56,271,742	54,211,614	2,060,128
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産期末残高	12,895,583	12,895,583	0
Ⅲ 正味財産期末残高	69,167,325	67,107,197	2,060,128

正味財産増減計算書内訳表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計 体験活動 他	収益事業等会計				法 人 会 計	決算合計 (A)	(参 考)	
		会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰親睦	共通	小計			予算 (B)	差異 (A－B)
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
①受取会費									
正会員受取会費	11,693,000	0	501,500		501,500	4,510,000	16,704,500	20,000,000	△ 3,295,500
賛助会員受取会費	1,974,000	0	85,000		85,000	762,260	2,821,260	900,000	1,921,260
②事業収益									
研修会事業収益	1,100,000	550,500	0		550,500	0	1,650,500	1,200,000	450,500
親睦会事業収益	0	0	2,756,200		2,756,200	0	2,756,200	1,800,000	956,200
③受取寄付金	0	0	0		0	0	0	30,000	△ 30,000
④雑収益									
受取利息	3,188	0	0		0	0	3,188	5,000	△ 1,812
広告収益	2,085,000	0	0		0	0	2,085,000	1,600,000	485,000
雑収益	6,345	422,283	3,060		425,343	416,384	848,072	10,000	838,072
経常収益計	16,861,533	972,783	3,345,760	0	4,318,543	5,688,644	26,868,720	25,545,000	1,323,720
(2) 経常費用									
①事業費									
給料手当	739,194	130,446	217,410		347,856		1,087,050	1,150,000	△ 62,950
福利厚生費	7,998	1,412	2,352		3,764		11,762	25,000	△ 13,238
会議費	2,741,181	262,219	1,322,112		1,584,331		4,325,512	4,627,732	△ 302,220
旅費交通費	882,281	82,746	13,965		96,711		978,992	1,120,107	△ 141,115
通信運搬費	2,240,212	19,499	0		19,499		2,259,711	2,600,535	△ 340,824
減価償却費	874,815	7,361	3,681		11,042		885,857	914,869	△ 29,012
消耗品費	654,114	8,280	0		8,280		662,394	400,000	262,394
修繕費	204,672	0	0		0		204,672	208,000	△ 3,328
印刷製本費	6,369,277	58,563	51,259		109,822		6,479,099	5,906,542	572,557
光熱水料費	119,604	1,514	0		1,514		121,118	192,000	△ 70,882
管理費	820,704	0	0		0		820,704	960,000	△ 139,296
倉庫使用費	169,921	0	0		0		169,921	170,178	△ 257
保険料	28,502	361	0		361		28,863	120,000	△ 91,137
支払手数料	59,236	0	8,462		8,462		67,698	96,000	△ 28,302
租税公課	243,491	0	0		0		243,491	192,000	51,491
慶弔費	180,552	0	25,793		25,793		206,345	320,000	△ 113,655
広報関連費	612,714	0	0		0		612,714	600,000	12,714
研究助成費	35,000	15,000	0		15,000		50,000	50,000	0
原稿料	31,800	0	0		0		31,800	500,000	△ 468,200
諸謝金	422,861	147,967	0		147,967		570,828	400,000	170,828
図書費	7,032	2,544	0		2,544		9,576	35,000	△ 25,424
支払利息	210,111	2,677	1,338		4,015		214,126	280,000	△ 65,874
雑費	471,322	16,108	40,377		56,485		527,807	400,695	127,112
事業費計	18,126,594	756,697	1,686,749	0	2,443,446		20,570,040	21,268,658	△ 698,618

科 目	公益目的事業会計 体験活動 他	収益事業等会計				法 人 会 計	決算合計 (A)	(参 考)	
		会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰親睦	共通	小計			予算 (B)	差異 (A-B)
②管理費									
給料手当						1,087,050	1,087,050	1,150,000	△ 62,950
福利厚生費						11,762	11,762	25,000	△ 13,238
会議費						815,303	815,303	872,268	△ 56,965
旅費交通費						69,828	69,828	79,893	△ 10,065
通信運搬費						173,323	173,323	199,465	△ 26,142
印刷製本費						102,517	102,517	93,458	9,059
減価償却費						204,869	204,869	201,131	3,738
消耗品費						165,598	165,598	100,000	65,598
修繕費						51,168	51,168	52,000	△ 832
光熱水料費						30,279	30,279	48,000	△ 17,721
管理費						205,176	205,176	240,000	△ 34,824
倉庫使用費						41,759	41,759	41,822	△ 63
保険料						7,216	7,216	30,000	△ 22,784
支払手数料						16,925	16,925	24,000	△ 7,075
租税公課						175,009	175,009	138,000	37,009
慶弔費						51,586	51,586	80,000	△ 28,414
支払報酬						894,900	894,900	700,000	194,900
支払利息						53,531	53,531	70,000	△ 16,469
雑費						80,753	80,753	61,305	19,448
管理費計						4,238,552	4,238,552	4,206,342	32,210
経常費用計	18,126,594	756,697	1,686,749	0	2,443,446	4,238,552	24,808,592	25,475,000	△ 666,408
評価損益調整前当期経常増減額	△ 1,265,061	216,086	1,659,011	0	1,875,097	1,450,092	2,060,128	70,000	1,990,128
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計									
当期経常増減額	△ 1,265,061	216,086	1,659,011	0	1,875,097	1,450,092	2,060,128	70,000	1,990,128
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	937,549				△ 937,549				
税引前当期一般正味財産増減額	△ 327,512	216,086	1,659,011	0	937,548	1,450,092	2,060,128	70,000	1,990,128
法人税、住民税及び事業税						0	0	70,000	△ 70,000
当期一般正味財産増減額	△ 327,512	216,086	1,659,011	0	937,548	1,450,092	2,060,128	0	2,060,128
一般正味財産期首残高							54,211,614	49,923,534	4,288,080
一般正味財産期末残高							56,271,742	49,923,534	6,348,208
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額						0	0	0	0
指定正味財産期首残高							12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産期末残高							12,895,583	12,895,583	0
III 正味財産期末残高							69,167,325	62,819,117	6,348,208

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

当法人は「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」並びに「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の関連する規定に基づき、「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。

有形固定資産 定額法

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	—	—	—	—
特定資産				
建物	31,995,050	0	673,580	31,321,470
土地	32,749,000	0	0	32,749,000
小 計	64,744,050	0	673,580	64,070,470
合 計	64,744,050	0	673,580	64,070,470

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	—	—	—	—
特定資産				
建物	31,321,470	—	(31,321,470)	—
土地	32,749,000	(12,895,583)	(19,853,417)	—
小 計	64,070,470	(12,895,583)	(51,174,887)	—
合 計	64,070,470	(12,895,583)	(51,174,887)	—

4 担保に供している資産

建物31,321,470円（帳簿価額）、土地32,749,000円（帳簿価額）は、長期借入金12,415,000円（平成25年3月31日現在残高）の担保に供している。

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建 物			
事務所マンション区分所有権	33,678,999	2,357,529	31,321,470
小 計	33,678,999	2,357,529	31,321,470
土 地			
事務所マンション敷地権	32,749,000		32,749,000
小 計	32,749,000		32,749,000
その他固定資産			
建物附属設備			
電気設備工事	170,000	37,966	132,034
スチールパーテーション	1,079,469	241,080	838,389
スライディング遮音ドア	1,702,082	380,131	1,321,951
小 計	2,951,551	659,177	2,292,374
什器備品			
会旗	1,650,000	1,649,999	1
データプロジェクター	379,050	367,678	11,372
X線測定器	551,250	534,714	16,536
映画用スクリーン	120,058	114,056	6,002
壁面収納	676,691	151,126	525,565
ロールスクリーン	218,449	207,527	10,922
寄付者名盤	500,000	135,417	364,583
プロジェクター	182,960	76,233	106,727
耐火金庫	378,525	7,886	370,639
小 計	4,656,983	3,244,636	1,412,347
電話加入権			
固定電話 (03-3806-7724)	10,300		10,300
小 計	10,300		10,300
合 計	74,046,833	6,261,342	67,785,491

6 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録

平成 25 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	78,815		
	預金	< 普通預金 >				
		三井住友信託銀行新橋支店 1	運転資金として	291,897		
		三井住友信託銀行新橋支店 2	同上	1,973,061		
		みずほ銀行八重洲口支店	同上	3,561,616		
		三井住友銀行日暮里支店	同上	628,864		
		< 振替貯金 >				
		ゆうちょ銀行振替口座	運転資金として	2,400,966		
		< 定期預金 >				
	三井住友信託銀行新橋支店	運転資金として	5,000,000			
< 現金・預金計 >			13,935,219			
流動資産合計			13,935,219			
(固定資産)	特定資産	建物	マンション区分所有権 505号室	(共用財産)	31,321,470	
			119.96㎡	うち公益目的保有財産 78.5%	24,587,354	
			荒川区西日暮里2 - 411 - 15	うち収益事業等使用財産1.5%	469,822	
				うち管理目的使用財産 20.0%	6,264,294	
			< 建物計 >	31,321,470		
		土地	敷地権	(共用財産)	32,749,000	
			持分2,842.60㎡の100万分の8543	うち公益目的保有財産 78.5%	25,707,965	
			荒川区西日暮里2 - 411 - 15	うち収益事業等使用財産1.5%	491,235	
				うち管理目的使用財産 20.0%	6,549,800	
			< 土地計 >	32,749,000		
		< 特定資産計 >			64,070,470	
		その他の固定資産	建物附属設備	電気設備工事	(共用財産)	132,034
				うち公益目的保有財産 80.0%	105,627	
				うち管理目的使用財産 20.0%	26,407	
	スチールパーティション			(共用財産)	838,389	
				うち公益目的保有財産 80.0%	670,711	
				うち管理目的使用財産 20.0%	167,678	
	スライディング遮音ドア			(共用財産)	1,321,951	
				うち公益目的保有財産 80.0%	1,057,561	
				うち管理目的使用財産 20.0%	264,390	
	< 建物附属設備計 >			2,292,374		
	什器備品			会旗 1 流	(共用財産)	1
					うち公益目的保有財産 80.0%	1
				うち管理目的使用財産 20.0%	0	
			データプロジェクター 1 台	(公益目的保有財産)	11,372	
			X線測定器 1 台	(公益目的保有財産)	16,536	
		映画用スクリーン 1 台	(公益目的保有財産)	6,002		
	壁面収納	(共用財産)	525,565			
		うち公益目的保有財産 80.0%	420,452			
		うち管理目的使用財産 20.0%	105,113			

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金額
	什器備品	ロールスクリーン 1 台		(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	10,922 8,738 2,184
		寄付者名盤 1 式		(共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産1.5% うち管理目的使用財産 20.0%	364,583 286,199 5,468 72,916
		プロジェクター 1 台		(公益目的保有財産)	106,727
		耐火金庫		(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	370,639 296,511 74,128
	電話加入権	固定電話1件：03-3806-7724		<什器備品計> (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	1,412,347 10,300 8,240 2,060
				<電話加入権計>	10,300
				<その他固定資産計>	3,715,021
固定資産合計		うち公益目的保有財産 うち収益事業等使用財産 うち管理目的使用財産		67,785,491 53,289,996 966,525 13,528,970	
資産合計				81,720,710	
(流動負債)	前受会費	会員からの平成25年度会費	公益目的事業及び収益事業等並びに 管理目的の業務に使用する翌事業年 度の会費	130,000	
	預り金	事務職員他	源泉所得税他	8,385	
流動負債合計				138,385	
(固定負債)	長期借入金	三井住友信託銀行新橋支店	公益目的事業及び収益事業等並びに 管理目的の業務に使用する土地・建 物の購入資金として	12,415,000	
固定負債合計				12,415,000	
負債合計				12,553,385	
正味財産				69,167,325	

第3号議案 平成24年度監査報告

定款23条に基づき、平成25年4月22日（月）、東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号、公益社団法人東京都診療放射線技師会事務所において、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの会計年度における、業務および会計の監査を平成25年度の公益社団法人東京都診療放射線技師会 代表理事（会長）、理事（副会長）、業務執行理事（総務委員長、経理委員長、庶務委員長）ならびに公認会計士立ち会いのもとに行った結果を下記の通り報告する。

記

1. 監査の方法

(1) 事業

会長、副会長、総務委員長、庶務委員長らの説明により事業計画に基づいた事業の報告と関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きにのっとり、業務執行の妥当性を検討した。

(2) 会計

経理委員長の説明により帳簿ならびに関係書類などを閲覧し、監査手続きにのっとり、会計簿と記載金額とが一致し、法人の収支状況および財産状況を詳細に監査した。

2. 監査の結果

(1) 事業

平成24年度事業計画に基づき、事業ならびに会務の運営は順調に推進したことを認める。

(2) 会計

帳簿ならびに関係書類などを閲覧し、会計簿と記載金額とが一致し、法人の収支状況および財産状況を正しく示していると認める。

以上

平成25年4月22日

監事 乙井不二夫 印

監事 佐藤 清榮 印

* 監事・佐藤清榮は監督官庁の指導による会員外監事であります。

I. 総括

わが国やわれわれ医療界が以前から背負ってきた課題や新たに生じた難題が山積している。エネルギー・環境問題、わが国及び世界の経済情勢、東日本大震災被災地および原発災害からの復興、領土保全と安全保障、歴史に例のない超少子高齢化等々、難題が雨雲のように垂れ込めて、未来へと向かう空を覆っている。さまざまな問題を先送りにしてきたツケであることは言うまでもないが、何とかしてこの閉塞感を打破しなければならない。

故武見太郎氏は「未来からの投影」という言葉を残した。「賢者は歴史から学び、愚者は経験から学ぶ」とは鉄血宰相と呼ばれたドイツ帝国の初代宰相ビスマルクの言葉であるが、私たちは地球全体の動きも見据え、歴史から学びながら、将来・未来のあるべき姿から現在に投影された診療放射線技師・職能団体としての社会的責任を果たし、結果として国民また他の医療職種から信頼され必要とされ、チーム医療の重要な一員と認知されるべく活動していかなければならない。診療放射線技師が一層の社会的価値として認められる職能となるために引き続き、1) チーム医療の推進、2) 地球環境と調和した医療技術の向上、3) 生涯教育・専門教育の推進、を展開して行く。

2010年4月に「診療放射線技師が現行制度の下で実施することができる」とし、①画像診断における読影の補助を行うこと。②放射線検査などに関する説明・相談を行うこと。との厚生労働省医政局通達が出された。「診療放射線技師を積極的に活用することが望まれる」とあり、チーム医療の重要な一員として位置づけられている。このことは、さらなる卒後教育・生涯学習の必要性が求められていることでもある。また、2011年11月には厚労省チーム医療推進会議において「診療放射線技師の業務範囲拡大」について審議・答申があり、CT・MRI検査などにおける留置針からの造影・抜針・止血、下部消化管検査におけるネラトンチューブの挿入・造影剤の注入など、実態として診療放射線技師が担っていた一部の医行為について「診療の補助」として法的根拠が付加され、RI関連装置なども「政令で定める装置」として明確に業務範囲に位置付けられることになった。このことによる国民の安全・安心な医療のために必要な研修・講習などについても、職場や技師会などにおいて取り組むことが求められている。

高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。それには広告のできる認定技師制度、領域別読影専門技師の育成、業務の診療報酬への反映、関連法令の改訂など、政策立案が必要であり、診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。

また、都内各所で開催される行政祭りなどにおいて、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、乳がん触知体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入っていく公益事業も支部を中心に引き続き推進する。

本会は公益社団法人として一層の社会性・公益性のある事業を推進しなければならない。会員および診療放射線技師の資質を高め、それを医療の現場で積極的に活用していくことは国民のため、チーム医療推進のためである。そしてそれをいかに表現していくかが重要である。

会員の皆さま方のより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。

Ⅱ. 定款に基づく本会の事業

(目 的)

この法人は、診療放射線学の向上発展と放射線障害の防止に関する事業を推進するとともに、東京都における診療放射線技師の職業倫理を高揚することにより、放射線検査・治療技術の質の確保と都民の健康および医療、ならびに保健の質の維持発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業
- (2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業
- (3) 放射線関連機器の安全管理を推進する事業
- (4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進
- (5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業、及び放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で知識の啓発普及を行います。また、診療放射線技師においては、職業倫理を高揚し保健の質の維持発展および公衆衛生の向上に寄与します。この事業を通して、放射線災害や放射線事故に備えて、会員および広く診療放射線技師に対して緊急事態時における放射線測定や放射能除去の訓練を常日ごろより行うとともに、東京都民に対する啓発や知識の普及を行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ペイシェントケア学術大会

開催時期：6月 土曜日

開催場所：日暮里サニーホールまたは東京都内のイベントホール

主 催：（公社）東京都診療放射線技師会

後 援：東京都および開催場所の市または区

実施内容：ペイシェントケアをテーマに患者医療に関する公開講演会およびシンポジウムを実施します。

2) サマー・ウィンターセミナー

開催時期：8月および1月下旬 土曜日

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：（公社）東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また、放射線災害や放射線事故に備えて、緊急事態時における放射線測定や放射能除去の方法を実習など取り入れながら行います。

3) メディカルマネジメント研修会

開催時期：11月中旬

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：（公社）東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ医療職の管理職を対象に危機管理や経営学をはじめ、各業界から専門家を招いて研修を行います。

4) 合同学術講演会

開催時期：9月上旬

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：（公社）東京都診療放射線技師会・（公社）日本放射線技術学会東京部会

実施内容：東京都内の診療放射線技師が所属する2団体での合同企画であり、講師に診療放射線技師はもとより、医師、看護師をはじめとしたコメディカル分野の専門家、および有識者を招きます。

5) 診療放射線技師の民間の給与、放射線医療に関する実態調査、各種研修会および講演会にてアンケートを実施し、その動向を調査し、今後の活動に生かす情報取得に努めます。これらの情報は、学術誌やホームページを通じて公表します。

2. 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業

東京都民を対象に下記の事業にて放射線医療および放射線障害防止の知識の啓発普及を行います。それぞれのイベントでは展示ブースなどを設置し、写真やパネルの展示、パンフレットおよび本会学術誌の配布を行います。また、一般参加者からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に対しては、会員が応対し、無料で適切なアドバイスを行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) 看護フェスタ2013

開催時期：5月

開催場所：新宿駅西口広場イベントコーナー看護フェスタ2013会場

主 催：（公社）東京都看護協会

実施内容：パンフレット配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、診療放射線技師の進路相談、放射線クイズ、学術誌配布

2) ピンクリボン in TOKYO 2013

開催時期：10月

開催場所：都庁都民広場周辺

主 催：東京都

実施内容：パンフレット配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

3) 町田市総合健康づくりフェア

開催時期：10月下旬 土曜日

開催場所：町田市健康福祉会館

主 催：町田市

実施内容：パンフレット配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、学術誌配布

4) 中央区健康福祉まつり

開催時期：10月下旬 日曜日

開催場所：中央区あかつき公園・福祉センター・中央区保健所

主 催：中央区

実施内容：パンフレット配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

5) OTAふれあいフェスタ2013

開催時期：11月初旬 土・日曜日

開催場所：平和島競艇場内水の広場

主 催：大田区

実施内容：パンフレット配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、学術誌配布

6) ピンクリボンウオーク2014

開催時期：3月最終日曜日

開催場所：日比谷公園

主 催：認定NPO法人乳房健康研究会

実施内容：パンフレット配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

7) 医療被ばくや放射線に関する相談への対応

ホームページを利用して一般の方からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に適切にアドバイスを行います。

3. 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進

- 1) 東京都福祉保健局医療政策部と連携を図り、医療従事者ネットワークに参加する医療専門職関連団体との連携を強化し、医療におけるさまざまな諸問題について協議を行い、改善を図ります。
- 2) 公益社団法人日本診療放射線技師会の生涯教育セミナー、臨床実習指導教員、放射線機器管理士および放射線管理士講習会などの事業に協力します。関東甲信越診療放射線技師学術大会を共催し、関東甲信越地域の放射線技師会との連携を図ります。
- 3) 放射線関連団体、医療関連機関、医療関連職能団体との交流を促進します。
- 4) 東京都内の診療放射線技師を養成する大学などと連携し、本会刊行物の無料配布を通じて診療放射線技師が果たす医療の役割を理解していただく啓発活動を行います。

4. 前各項目の主旨を目的とした学術誌の刊行

- 1) 学術誌「東京放射線」の刊行。
月刊誌「東京放射線」を発行し、会員に配布するとともに国立国会図書館、医療関連機関、全国の放射線技師会および診療放射線技師を養成する大学などに寄贈します。また、イベントの展示ブースにて、都民をはじめ一般の方に広く配布します。
- 2) 本会の活動に関する図書の刊行。
診療放射線技師および放射線医療に役立つ学術資料を刊行します。

5. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

- 1) 診療放射線技師の生涯教育を行います。
診療放射線技師のエキスパートにより、少人数制で専門的で高度な技術を習得し、診療放射線技師の生涯教育の目的で行います。また、フレッシュャーズセミナー、各種基礎技術講習、静脈注射講習会などを、公益社団法人日本診療放射線技師会との共催として開催し、技師としての礎を築くことができるようにいたします。これらを通じて入会促進に努めます。
- 2) 専門技術および資格の取得に向けた講習会を行います。
他団体と連携を図り、専門技術のさらなる習得と認定技師制度に基づく取得を目的に、きめこまかな生涯教育、MRI集中講習会を開催します。
- 3) 日暮里塾ワンコインセミナー（NOC）と称して、本会事務所研修センターにて、医療・健康・放射線技術などのさまざまなテーマで、誰でも参加できるセミナーを行います。
- 4) 本会は、定款諸規程および内規ののっとり運営を行います。この定款諸規程を現状の組織運営に適した修正作業を行います。
- 5) 組織の活性化、新卒者などの入会促進のための活動を行います。更に雇用の促進と確保に努めます。
- 6) 会員の中から、叙勲、厚生労働大臣表彰、東京都知事表彰、医療功労者表彰などへの申請を行います。また、本会における規定の表彰を行います。
- 7) 学術誌「東京放射線」のデータ化に努め、資料を残せる体制の強化に努めます。
- 8) 地球環境保全活動の推進のため、地域の清掃活動などに参加します。また、禁煙運動を促進し、健康の普及を推進します。

Ⅲ. 地区事業計画

平成25年度の各地区の事業計画が次のように企画されています。会員の皆さまのご協力をお願いします。なお、日時および詳細につきましては当該地区委員長にお問い合わせください。

第1地区事業計画

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。(研修会：2月頃開催予定、情報交換会：7月・12月頃開催予定)
 - ・支部研修会を開催する。(7月・11月頃開催予定)
 - ・地区委員会を年11回開催する。(毎月第3火曜日開催予定)
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール・直接出向くなどで積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・地区委員を増やす。
 - ・地区のHPを作成する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越）⑤学術講演会
⑥新春のつどい など

第2地区事業計画

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。(平成25年11月開催予定)
 - ・支部研修会を開催する。(平成25年10月開催予定)
 - ・地区委員会を年6回開催する。(拡大理事会開催月 第3金曜日開催予定)
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越）⑤学術講演会
⑥新春のつどい など

第3地区事業計画

- ・地区主催活動（おもに研修会）を通じて活性化を図る。
 - ・城西支部研修会の開催補助。(1回／年を予定)
 - ・第3地区研修会を開催する。(1回／年を予定)
 - ・地区委員会を年6回開催する。(理事会開催月 第3木曜日開催予定)
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行い活動・情報伝達の充実を図る。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行い充実した地区活動に繋げる。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・地区委員が積極的に本部・各支部行事に参加し、会全体の活性化を図る。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②ペイシェントケア学術大会③学術研修会④きめこまかな生涯教育⑤学術大会（日放技・関東甲信越）
⑥学術講演会⑦地球環境保全活動⑧新春のつどい など

第4地区事業計画

- ・地区主催活動（おもに研修会）を通じて活性化を図る。
- ・城南支部研修会の開催補助。（第8地区主導開催予定）
- ・第4地区研修会を開催する。
- ・地区委員会を年6回開催する。（隔月第3水曜日開催予定）
- ・地区委員会を年6回メールにて開催する。
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い活動・情報伝達の充実を図る。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行い充実した地区活動につなげる。
- ・小野賞を選考する。
- ・地区委員が積極的に本部・各支部行事に参加し会全体の活性化を図る。
- ・支部内の地区との連絡を密にし、連携を強化していく。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会②ペイシェントケア学術大会③学術研修会④きめこまかな生涯教育⑤学術大会（日放技・関東甲信越）
⑥学術講演会⑦地球環境保全活動⑧新春のつどい など

第5地区事業計画

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。（研修会：平成26年2月予定）
- ・支部学術研修会を開催する。（城北支部研修会 平成25年10月頃開催予定）
- ・地区委員会を年11回開催する。
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・清掃活動を行う。（原則20日で日曜日・祝日にあたる日）
- ・地区会員清掃旅行を開催する。（平成26年3月開催予定）
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越）⑤学術講演会
⑥地球環境保全活動⑧新春のつどい など

第6地区事業計画

- ・地区研修会を開催する。（開催1回を予定）
- ・支部研修会を開催する。（開催1回を予定）
- ・地区委員会を年6回開催する。（奇数月第3水曜日開催予定）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越）⑤学術講演会
⑥新春のつどい など

第7地区事業計画

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。
 - ・城東支部研修会を開催する。
 - ・地区委員会を年6回開催する。(隔月第三木曜日開催原則)
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会(日放技・関東甲信越)⑤学術講演会
⑥新春のつどい など

第8地区事業計画

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。(研修会 年1回、夏に情報交換会開催予定)
 - ・支部研修会を開催する。(年1回開催予定)
 - ・地区委員会を年6回開催する。(隔月第2木曜日開催予定)
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会(日放技・関東甲信越)⑤学術講演会
⑥新春のつどい など

第9地区事業計画

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。(10月下旬開催予定)
 - ・支部研修会を開催する。(2月開催予定)
 - ・地区委員会を年6回開催する。(隔月第3木曜日開催予定)
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・地区委員(1名)を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会(日放技・関東甲信越)⑤学術講演会
⑥新春のつどい など

第10地区事業計画

- ・地区主催活動(おもに研修会)を通じて活性化を図る。
- ・城西支部研修会の開催補助。(第10地区主導開催)
- ・第10地区研修会を開催する。
- ・地区委員会を年6回開催する。
- ・地区委員会を年6回メールにて開催する。
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い活動・情報伝達の充実を図る。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行い充実した地区活動につなげる。

- ・小野賞を選考する。
 - ・地区委員が積極的に本部・各支部行事に参加し会全体の活性化を図る。
 - ・支部内の地区との連絡を密にし、連携を強化していく。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②ペイシェントケア学術大会③学術研修会④きめこまかな生涯教育⑤学術大会（日放技・関東甲信越）
⑥学術講演会⑦地球環境保全活動⑧新春のつどい など

第11地区事業計画

- ・地区学術研修会を開催する。（会場を東邦大学医療センター大橋病院にて10月頃開催予定）
 - ・地区情報交換会を開催する。（夏季情報交換会8月開催予定、新年情報交換会2月開催予定）
 - ・地区委員会を年9回開催する。（2月、8月、12月を除く）
 - ・地域に貢献するボランティア活動を行う。
 - ・未入会者には積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・他地区との交流を積極的に図る。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越）⑤学術講演会
⑥新春のつどい など

第12地区事業計画

- ・地区研修会を開催する。（平成26年1月開催予定）
 - ・支部研修会を開催する。（平成26年2月開催予定）
 - ・地区委員会を年6回開催する。（偶数月第3水曜日開催原則）
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・町田健康づくりフェアに参加し、市民に骨密度測定・放射線に関する相談や説明・乳がん検診のPRを行う。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越）⑤学術講演会
⑥新春のつどい など

第13地区事業計画

- ・地区研修会を開催する。（平成25年10月開催予定）
 - ・支部研修会を開催する。（平成26年2月開催予定）
 - ・地区委員会を年6回開催する。（偶数月第3火曜日開催予定）
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越）⑤学術講演会 など

第14地区事業計画

- ・第14地区の集い（研修会・情報交換会）を開催する。（8月3日土曜日 工場見学会開催予定）
 - ・支部研修会を開催する。（7月もしくは11月頃に開催予定）
 - ・地区委員会を年5回開催する。（偶数月第3火曜日開催原則）
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越）⑤学術講演会
⑥新春のつどい など

第15地区事業計画

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。（研修会を上半期に開催予定）
 - ・学術・教育委員会との連携開催を企画する。
 - ・支部研修会を開催する。（担当第8地区、開催のバックアップをする）
 - ・地区委員会を年6回開催する。（拡大理事会月第2金曜日開催原則）
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メールなどで積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・城南支部（第4・8・1・15地区）の地区間連携を図る。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越）⑤学術講演会
⑥新春のつどい など

第16地区事業計画

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。（平成25年11月頃開催予定）
 - ・支部研修会を開催する。（平成25年10月頃開催予定）
 - ・地区委員会を年6回開催する。（隔月第4曜木曜日開催原則）
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越）⑤学術講演会
⑥新春のつどい など

第5号議案 平成25年度予算書（案）

収支予算書 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計 体験活動 他	会員のための 生涯教育事業	収益事業等会計			法 人 会 計	予算合計 (A)	(参 考)	
			相互扶助 表彰親睦	共 通	小 計			前期予算 (B)	差異 (A - B)
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
①受取会費									
正会員受取会費	11,900,000	340,000	170,000		510,000	4,590,000	17,000,000	20,000,000	△ 3,000,000
賛助会員受取会費	1,750,000	50,000	25,000		75,000	675,000	2,500,000	900,000	1,600,000
②事業収益									
研修会事業収益	866,666	433,334			433,334	0	1,300,000	1,200,000	100,000
親睦会事業収益	0	0	2,000,000		2,000,000	0	2,000,000	1,800,000	200,000
出版事業収益		0	0		0	0	0	0	0
③受取寄付金	30,000	0	0		0	0	30,000	30,000	0
④受取補助金	0	0	0		0	0	0	0	0
⑤雑収益									
受取利息	2,000	0			0	0	2,000	5,000	△ 3,000
広告収益	1,850,000	0			0	0	1,850,000	1,600,000	250,000
雑収益	500,000	0			0	0	500,000	10,000	490,000
経常収益計	16,898,666	823,334	2,195,000	0	3,018,334	5,265,000	25,182,000	25,545,000	△ 363,000
(2) 経常費用									
①事業費									
給料手当	758,200	133,800	223,000		356,800		1,115,000	1,150,000	△ 35,000
福利厚生費	17,000	3,000	5,000		8,000		25,000	25,000	0
会議費	2,826,061	270,338	1,363,052		1,633,390		4,459,451	4,627,732	△ 168,281
旅費交通費	925,334	86,784	14,647		101,431		1,026,765	1,120,107	△ 93,342
通信運搬費	2,301,870	20,036			20,036		2,321,906	2,600,535	△ 278,629
減価償却費	904,770	6,733	3,366		10,099		914,869	914,869	0
消耗品費	395,000	5,000			5,000		400,000	400,000	0
修繕費	208,000				0		208,000	208,000	0
印刷製本費	6,290,294	57,837	50,623		108,460		6,398,754	5,906,542	492,212
光熱水料費	118,500	1,500			1,500		120,000	192,000	△ 72,000
管理費	880,000				0		880,000	960,000	△ 80,000
倉庫使用費	173,389				0		173,389	170,178	3,211
保険料	79,000	1,000			1,000		80,000	120,000	△ 40,000
支払手数料	70,000		10,000		10,000		80,000	96,000	△ 16,000
租税公課	192,000				0		192,000	192,000	0
慶弔費	210,000		30,000		30,000		240,000	320,000	△ 80,000
広報関連費	800,000				0		800,000	600,000	200,000
研究助成費	35,000	15,000			15,000		50,000	50,000	0
原稿料	300,000				0		300,000	500,000	△ 200,000
諸謝金	407,432	142,568			142,568		550,000	400,000	150,000
図書費	22,029	7,971			7,971		30,000	35,000	△ 5,000
図書利息	219,800	2,800	1,400		4,200		224,000	280,000	△ 56,000
雑費	387,244	13,235	33,174		46,409		433,653	400,695	32,958
事業費計	18,520,923	767,602	1,734,262	0	2,501,864		21,022,787	21,268,658	△ 245,871

科 目	公益目的事業会計 体験活動 他	収益事業等会計				法 人 会 計	予算合計 (A)	(参 考)	
		会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰親睦	共 通	小 計			前期予算 (B)	差異 (A-B)
②管理費									
給料手当						1,115,000	1,115,000	1,150,000	△ 35,000
福利厚生費						25,000	25,000	25,000	0
会議費						840,549	840,549	872,268	△ 31,719
旅費交通費						73,235	73,235	79,893	△ 6,658
通信運搬費						178,094	178,094	199,465	△ 21,371
印刷製本費						101,246	101,246	93,458	7,788
減価償却費						201,131	201,131	201,131	0
消耗品費						100,000	100,000	100,000	0
修繕費						52,000	52,000	52,000	0
光熱水料費						30,000	30,000	48,000	△ 18,000
管理費						220,000	220,000	240,000	△ 20,000
倉庫使用費						42,611	42,611	41,822	789
保険料						20,000	20,000	30,000	△ 10,000
支払手数料						20,000	20,000	24,000	△ 4,000
租税公課						138,000	138,000	138,000	0
慶弔費						60,000	60,000	80,000	△ 20,000
支払報酬						750,000	750,000	700,000	50,000
支払利息						56,000	56,000	70,000	△ 14,000
雑費						66,347	66,347	61,305	5,042
管理費計						4,089,213	4,089,213	4,206,342	△ 117,129
経常費用計		18,520,923	767,602	0	2,501,864	4,089,213	25,112,000	25,475,000	△ 363,000
評価損益調整前当期経常増減額		△ 1,622,257	55,732	0	516,470	1,175,787	70,000	70,000	0
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計									
当期経常増減額		△ 1,622,257	55,732	0	516,470	1,175,787	70,000	70,000	0
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経営外収益計		0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
経常外費用計		0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額		0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額		258,235	△ 27,866	△ 230,369	△ 258,235	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額		△ 1,622,257	27,866	0	258,235	1,175,787	70,000	70,000	0
法人税、住民税及び事業税						70,000	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額		△ 1,622,257	27,866	0	258,235	1,105,787	0	0	0
一般正味財産期首残高		25,740,367			959,550	23,223,617	49,923,534	49,923,534	0
一般正味財産期末残高		24,118,110			1,217,785	24,329,404	49,923,534	49,923,534	0
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額		0			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高		10,123,033			193,434	2,579,116	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産期末残高		10,123,033			193,434	2,579,116	12,895,583	12,895,583	0
III 正味財産期末残高		34,241,143			1,411,219	26,908,520	62,819,117	62,819,117	0

第6回 胃X線画像読影勉強会のご案内

記

日 時：平成25年5月24日（金）18時30分～20時30分（受付開始18時00分～）
会 場：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター
ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
主 催：一般社団法人日本消化器がん検診学会関東甲信越支部放射線研修委員会（放射線部会）
後 援：公益社団法人東京都診療放射線技師会
参 加 費：会 員 1,500円（診療放射線技師会または日本消化器がん検診学会・同支部の会員）
非会員 2,500円
定 員：70名
お申込み方法：①お名前（ふりがな） ②勤務先 ③勤務先住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス
⑥会員番号（日本消化器がん検診学会・同支部または日本診療放射線技師会）・または非会
員の旨上記6点をご明記の上、お名前のみ件名にも記してgdokuei6@gmail.comまでお申し込
みください。
お申込み期間：5月11日（土）～5月21日（火）まで

以上

—プログラム—

教育講演 「胃がんX線像の成り立ち」
慶應義塾大学病院予防医療センター 吉田 諭史 先生

日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部 放射線研修委員会からのお知らせ 「セミナー開催のご案内」

第24回 胃X線検査レベルアップセミナー

日 程 平成25年6月15日（土）14時00分より
会 場 公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

以上、開催予定です。

* 詳細は次号に掲載予定です。

..... 中央医療技術専門学校卒業生の皆様へ

第30回中央医療技術専門学校 同窓会総会・中央放射線学会のご案内

.....

日 時：平成25年6月29日(土) 14:30～19:30
会 場：中央医療技術専門学校3号館 視聴覚教室
葛飾区立石3-5-12 電話03-3691-1879
参 加 費：総会・学会参加費 無料
懇親会参加費 1,000円(新卒者は無料)

※同窓生はどなたでも参加できます。
多数の参加をお待ちしております。

プログラム

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 同窓会総会 | 14:30～15:20 |
| 2. 学 術 大 会 | 15:20～17:20 |
| ◎同窓会員研究発表 | 15:20～16:20 |
| ◎教育講演 | 16:40～17:20 |
| 3. 懇 親 会 | 17:30～19:30 |
| 会 場 | 葛飾区勤労福祉会館 |

中央放射線学会「演題募集」の件

同窓会員の第30回中央放射線学会の演題募集をしております。自薦、他薦は問いません。
申し込み先：下記メールアドレスにご連絡ください。こちらからご案内させていただきます。

布施 章 akiraf@jikei.ac.jp

締 め 切 り：平成25年5月15日(水)

お問い合わせ：事務局長：布施章 慈恵医大葛飾医療センター 画像診断部

電話：03-3603-2111(内線3371) E-mail: akiraf@jikei.ac.jp

事 務 局：平松雅樹 慈恵医大第三病院 放射線部

電話：03-3480-1151(内線3213) E-mail: hiramatsu@jikei.ac.jp

平成25年度 関東甲信越
診療放射線技師学術大会
「今めざすもの」
～未来へつなぐ放射線医療～

【会 期】 平成25年 6 / 29 土・30 日

【会 場】 横浜情報文化センター
ワークピア横浜
横浜市開港記念会館

■主 催■

公益社団法人

日本診療放射線技師会
東京都診療放射線技師会
埼玉県診療放射線技師会
一般社団法人
千葉県診療放射線技師会

社団法人

長野県放射線技師会
山梨県放射線技師会
新潟県放射線技師会
栃木県放射線技師会
茨城県放射線技師会
群馬県放射線技師会
神奈川県放射線技師会

■実 施■

社団法人 神奈川県放射線技師会

第16回 日本臨床救急医学会総会・学術集会

本学術集会の主要テーマを「救急医療・集中治療の連鎖～職種を超えたチーム医療」と掲げ、良好な医療提供を目指し多種多様な医療専門職からなる医療チームの形成とともに、それぞれの専門性が最大限に発揮できるような医療環境の整備とチームワークが不可欠であり、診療放射線技師としても今後救急撮影認定技師として活躍の場面も増えてくると思われます。また本学術集会は日本救急撮影技師認定機構のポイントも付与されます。皆さまの参加および演題応募を心よりお待ちしております。

記

日 時：2013年7月12日(金)～13(土)

会 場：東京国際フォーラム 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

参加費：10,000円

問合先：事務局 日本大学医学部附属板橋病院救命救急センター内

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1

TEL:03-3972-8111 (内線：2828)

E-mail:info-jsem16@gakkai.co.jp

以上

診療放射線技師関連の演題内容

シンポジウム・パネルディスカッション等

- ・ 救急認定資格（看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師）の現状と今後
それぞれの職種で救急認定資格取得やその計画が進んでいます。すべての職種の方々と、救急認定資格による理想の救急医療チームとは何かについて討論
- ・ 救急初療における画像診断の近未来
画像診断に関する技術の進歩は目を見張るものがあります。その進歩の中で救急医学の未来はどう変わっていくのかを医師や診療放射線技師で討論
- ・ 救急放射線技術の最前線
日本救急撮影技師認定機構が始まって以来、救急撮影におけるデータベースの構築や撮影条件の検討など、これまでの研究を集約し、わかりやすく報告
- ・ 急性期以降の災害医療における連携
災害被災地における救急看護師・薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士・事務職員等の各職員が、いかなる役割をもって連携することが重要であるかを討論

教育講演・セミナー等

- ・ 救急撮影認定技師に必要な基礎知識
救急撮影認定技師制度が開始され、救急撮影認定技師に必要な撮影技術をわかりやすく講演

News

5月号

日 時：平成25年3月7日（木）

午後6時45分～午後8時20分

場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会事務所

出席理事：篠原健一、葛西一隆、白木 尚、関 真一、
野口幸作、大室正巳、浅沼雅康、市川重司、
高坂知靖、江田哲男、安宅里美、眞田鮎子、
高橋潤一郎、飯島利幸、大地直之、千葉利昭、
川崎政士

出席委員長：藤田賢一、平瀬繁男、岡部博之、田川雅人、
島田 豊、鈴木 晋、高林正人、原子 満

指名出席者：関 良充（第5地区委員長代）、

芦田 哲也（第16地区委員長代）

雨宮 広明（総務委員）、長谷川雅一（総務委員）

欠席理事：石田秀樹、森 俊、小野口敦

欠席委員長：工藤年男

議 長：篠原健一（会長）

司 会：白木 尚（副会長）

議事録作成：長谷川雅一（総務委員）

前回連絡会議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：17名、欠席：3名

会長報告

先月は、身内の不幸で理事会を欠席しご迷惑をお掛けしました。東京都診療放射線技師会から供花と皆さまから弔金を頂きありがとうございました。

会長より感謝の意味を込めて、ICレコーダーが贈呈された。

報告事項

1) 会長

活動報告書に追加等なし。

本年度は35施設を訪問した。引き続き、来年度も継続していきたいのでご協力をお願いしたい。

2) 副会長

活動報告書に追加等なし。

3) 専門部委員会報告

活動報告書に追加等なし。

4) 委員会等報告

活動報告書に追加等なし。

5) 事業報告

第7地区の2月の活動報告（開催なし）の追加があった。

その他、活動報告書に追加等なし。

議 事

1) 事業申請について

①ピンクリボンウォーク2013

【承認：17名、保留：0名、否認0名】

②第22回日暮里塾ワンコインセミナー

【承認：17名、保留：0名、否認0名】

③第23回日暮里塾ワンコインセミナー

【承認：17名、保留：0名、否認0名】

田川委員長：研修センターの使用がブッキングしてしまった。申請や受理のルールを明確にして欲しい。

篠原会長：事業申請を総務委員会が受け取り、専門部委員会が審議し1週間を目安に使用許可をしていきたい。事業申請は、理事会の承認が必要であるので、研修センター使用許可申請の提出は仮押さえのためにも事前をお願いしたい。

2) 平成25年度事業計画案について

事前配信資料および当日配布資料に基づき、協議を行った。

看護フェスタ：5月13日→5月12日へ訂正。

篠原会長：今後開催予定の各種事業計画の開催予定日の記載方法の取り決めについて検討した結果、月単位での記載に統一して行くことが確認された。

野口庶務理事：多少の誤字・脱字・言い回しなどの修正を加える可能性があることを前提として承認をいただきたい。

【承認：17名、保留：0名、否認0名】

3) 平成25年度予算案について

事前配信資料および当日配布資料に基づき協議を行った。

關地区委員長代：会費収入について、正会員が減少し、賛助会員が増加しているようである。

関経理理事：本年度の動向を加味し、より現実味のある予算案を提案する。

【承認：17名、保留：0名、否認0名】

4) 新入会員に関する件

野口庶務理事：1月期入会保留者に関しての報告がなされ、事務局としては、東放技と日放技の両方の入会が原則（推奨）である旨を伝えたが、東放技のみの入会希望である。

篠原会長：新入会は、東放技と日放技の両方の入会が原則（推奨）であるが、定款の記載表記は特にない。
 關地区委員長代：会員数の増加を考えると東放技のみの加入も考慮してみてもどうか。
 野口庶務理事：会費減額制度や一時期対応した東放技のみの入会などとは別に考え、これからの入会希望者のことで検討いただきたい。会員データベース管理の問題からも一元化を目標にしていきたい。
 篠原会長：新入会は東放技と日放技の両方の入会を原則としていきたい。今後も会員増の努力をしていきたい。東京都非在住・非在勤者は賛助会員扱いで入会を認める。今後のこともあるので、覚え書きなどでしっかりと残す。定款改正や見直しを含め検討していきたい。

- ①1月の新入会の審議が行われた。
 1月新入会者は保留継続審議とする。
 ②2月の新入会の審議が行われた。
 【承認：17名、保留：0名、否認0名】
 ③4月の新入会（賛助会員）の審議が行われた。
 【承認：17名、保留：0名、否認0名】

地区質問、意見に関する事項
 特になし

連絡事項

- 1) 渉外委員会
 ・小野賞の推薦の締め切りは3月8日である。推薦者がなくとも必ず、返信をお願いしたい。

- 2) 福利調査委員会
 ・新年度より福利調査委員会から厚生調査委員会に名称を変更する。
 3) 情報委員会
 ・ホームページ閲覧者のニーズを調査するため、アクセス解析の機能充実を図っていく。
 4) 庶務委員会
 ・事業計画案に必ず目を通し、ご意見があれば15日までに庶務委員会へ連絡すること。
 5) 編集委員会
 ・第2回総会準備委員名簿の確認をし、訂正がある場合は9日までに連絡すること。
 6) 学術教育委員会
 ・平成24年度学術奨励賞を第17回ワンコインセミナーから選出した。また、今年度からは新人賞も新たに設けた。
 ・第11回ペイシェント学術大会について
 テーマ「安全・安心な小児医療の提供」
 座長を各地区委員をお願いしていく方向で検討中である。ご協力をお願いしたい。
 ・MRI集中講習会に使用中のテキストが約400冊販売された。在庫が無くなってきている。講師等の了解は得られているので、改訂版として増刷していく予定である。
 7) 第7地区委員会
 ・理事会資料のファイル名をわかりやすい表記でお願いしたい。

以上

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 第2回定期総会 準備委員名簿

実行委員長：石田秀樹

副委員長：野口幸作 浅沼雅康 市川重司

経 理：関 真一 矢野孝好 横田 光 人見 謙二

来 客 係：大室正巳 高坂知靖 江田哲男 安宅里美 森 俊 西岡尚美

受 付 係：眞田鮎子 藤田賢一 平瀬繁男 高橋潤一郎 小野口敦 岡部博之 田川雅人

島田 豊 飯島利幸 大地直之 千葉利昭 鈴木 晋 川崎政士 高林正人

原子 満 工藤年男

書記写真記録係：内藤哲也 岩井譜憲 森 美加 中谷 麗 平田充弘 柴山豊喜 高橋克行

会 場 係：高野修彰 松田紗代子 浅沼芳明

採 決 係：岡部圭吾 高瀬 正 雨宮広明 河内康志 吉井伸之 長谷川雅一

総会運営委員：中村眞規 菊池 悟 今野重光 安藤猛晴 宇賀神哲也

資格審査委員：内山秀彦 阿蘇敏樹 澤田恒久 芦田哲也 柏倉賢一 見廣藤嗣 田中志穂

野田忠明 大永貴弘 川崎奨太

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌にてご案内しますので必ず確認してください。

平成25年度

1. 学術研修会
 - ☆第12回サマーセミナー 平成25年 8月31日 (土)
 - ☆第12回ウインターセミナー 平成26年 1月
 - 第16回メディカルマネジメント研修会 平成25年11月
2. きめこまかな生涯教育
 - 第49回きめこまかな生涯教育 平成25年 6月12日 (水) ～14日 (金)
 - 第50回きめこまかな生涯教育 平成25年10月
 - 第51回きめこまかな生涯教育 平成26年 2月
- ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー
 - 第22回日暮里塾ワンコインセミナー 平成25年 5月16日 (木)
 - 第23回日暮里塾ワンコインセミナー (フレッシュャーズセミナー合同開催)
 - 平成25年 5月19日 (日)
 - 第24回日暮里塾ワンコインセミナー 平成25年 7月18日 (木)
- ☆4. 第11回ペイシェントケア学術大会 平成25年 6月22日 (土)
- ☆5. 第13回東放技・東京部会合同学術講演会 平成25年 9月12日 (木)
6. 集中講習会
 - 第6回MRI集中講習会 平成26年 2月
 - 第1回CT集中講習会 平成26年 2月
- ☆7. 支部研修会
 - 城西・城北・多摩支部研修会
 - 平成25年度 城東支部研修会 平成25年 7月19日 (金)
 - 平成25年度 城南支部研修会 平成25年 7月26日 (金)
8. 地区研修会
 - 第16地区研修会 (TART・SART地区合同勉強会) 平成25年 6月20日 (木)
9. 地球環境保全活動
 - 荒川河川敷清掃活動
 - 日暮里駅前清掃活動
 - 富津海岸清掃活動

※公益社団法人東京都診療放射線技師会 第2回定期総会

平成25年 6月22日 (土)

関連団体

- 第23回胃X線検査レベルアップセミナー 平成25年 5月11日 (土)
- 平成25年度診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー
- 平成25年 5月19日 (日)
- 第6回胃X線画像読影勉強会 平成25年 5月24日 (金)
- 第24回胃X線検査レベルアップセミナー 平成25年 6月15日 (土)
- 第30回中央医療技術専門学校同窓会総会・中央放射線学会
- 平成25年 6月29日 (土)
- 平成25年度関東甲信越放射線技師学術大会 平成25年 6月29日 (土) ～30日 (日)
- 第16回日本臨床救急医学会総会・学術総会 平成25年 7月12日 (金) ～13日 (土)
- 第29回日本診療放射線技師学術大会 平成25年 9月20日 (金) ～22日 (日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

平成25年度2月期 会員動向

(平成25年2月)

総会員数		正会員							賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編出・入		会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出
23年度集計	1986	1790	87	20	10	69	-8・+2		196			3	9	8・-2
H24.4	1993	1797	10	1		4			196					
H24.5	1997	1800	10	1	2	4	-2		197				1	2
H24.6	2013	1815	15	3		1	-2		198				1	2
H24.7	2028	1828	16	3	2	2	-2		200					2
H24.8	2001	1806	9	2	1	32			195				5	
H24.9	2007	1812	8		1	1			195					
H24.10	2014	1819	7	1		1			195					
H24.11	2017	1822	4	2		3			195					
H24.12	2017	1822	3	1	2	2			195					
H25.1	2017	1822	3	1		4			195					
H25.2	2020	1826	3	3	1	1			194			1		

新卒新入＝★

2月度	新入会(3名)	藤代 力也	慶應義塾大学病院	3 地区	★
		浅野 翔太	東京大学医学部附属病院	5 地区	
		長谷川 文教	東大和病院	12 地区	
	転入(3名)	梅崎 好永	八重洲クリニック	2 地区	
		田中 俊幸	苑田第一病院	6 地区	
		長島 真希		10 地区	
	転出(2名)	村上 晴海	自衛隊横須賀病院 → 神奈川県へ	15 地区	賛
		池内 忠義	城西病院 → 神奈川県へ	14 地区	
	退会(1名)	望月 潔	井上整形外科	2 地区	

平成25年度3月期 会員動向

(平成25年3月)

総会員数		正会員							賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編出・入		会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出
23年度集計	1986	1790	87	20	10	69	-8・+2		196			3	9	8・-2
H24.4	1993	1797	10	1		4			196					
H24.5	1997	1800	10	1	2	4	-2		197				1	2
H24.6	2013	1815	15	3		1	-2		198				1	2
H24.7	2028	1828	16	3	2	2	-2		200					2
H24.8	2001	1806	9	2	1	32			195				5	
H24.9	2007	1812	8		1	1			195					
H24.10	2014	1819	7	1		1			195					
H24.11	2017	1822	4	2		3			195					
H24.12	2017	1822	3	1	2	2			195					
H25.1	2017	1822	3	1		4			195					
H25.2	2020	1826	3	3	1	1			194			1		
H25.3	1961	1777		1	3	47			184			2	8	
24年度集計	1961	1777	88	19	12	102	-6		184			3	15	6

3月度	転入(1名)	佐藤 秋生	苑田第一病院	6 地区	
	転出(5名)	菊地 孝	江東病院 → 北海道へ	7 地区	
		岡野 恵美子	富士吉田市立病院 → 山梨県へ	地区	賛
		北向 浩二	自衛隊中央病院 → 青森県へ	11 地区	
		****	**** → 茨城県へ	6 地区	未掲載希望
		渡邊 藍	昭和大学藤が丘病院 → 神奈川県へ	15 地区	賛
	退会(55名)	井口 純		1 地区	
		野原 孝幸	聖路加国際病院	2 地区	
		****	****	8 地区	未掲載希望
		福岡 一浩	山口整形外科クリニック	7 地区	
		赤木 勤	慈秀病院	13 地区	
		阿部 勝彦	駿河台日本大学病院	1 地区	
		雨宮 謙太	結核予防会 複十字病院	12 地区	
		浅野 幸	社会福祉法人 三井記念病院	1 地区	
		****	****	4 地区	未掲載希望
		市川 佐一	府中恵仁会総合病院	13 地区	
		市川 芳正	東京慈恵会医科大学附属第三病院	13 地区	
		石川 勉	国立病院東京災害医療センター	13 地区	
		石井 一徳	昭和大学病院	8 地区	
		内田 茂	都立駒込病院	5 地区	
		小川 孝	日本医科大学附属病院	5 地区	
		小川 仁司	東京医科歯科大学医学部附属病院	5 地区	
		小幡 祐樹	国立病院機構厚潟病院	地区	賛
		金井 徳昭	東京慈恵会医科大学附属青戸病院	6 地区	
		川西 真紀	東邦大学医療センター大森病院	8 地区	
		川崎 史緒理	都立墨東病院	7 地区	
		木下 秀記	財団法人 愛世会 愛誠病院	9 地区	
		栗原 浩次	三越診療所	3 地区	
		栗山 久雄	水野記念病院	6 地区	
		小泉 幸雄	東京都保健医療公社 東部地域病院	13 地区	
		近藤 秀典	つづき病院	15 地区	
		佐々木 光蔵	せんぼ東京高輪病院	4 地区	
		佐藤 亮	日本ユニシス診療所	7 地区	
		志賀 眞一	社会保健相模野病院	15 地区	
		白井 修平	東京慈恵会医科大学附属柏病院	14 地区	賛
		鈴木 久栄	第二国道病院	15 地区	賛
		藤井 雅子	小石川東京病院	5 地区	
		宗田 幸	同愛記念病院	7 地区	
		****		12 地区	未掲載希望
		川田 真弓	社会福祉法人 慈生会 慈生会病院	10 地区	
		高見 智子	順天堂大学医学部附属順天堂医院	5 地区	
		田中 利雄	葛飾区葛飾保健所	6 地区	
		寺岡 悟見	富士フイルムRIファーマ株式会社	2 地区	
		仲栄真 清信	聖マリアンナ医科大学病院	15 地区	賛
		根岸 政明	ヘルスポート西新宿	3 地区	
		原 みゆき	楠樹記念クリニック	3 地区	
		羽生 裕二	東京女子医科大学病院	3 地区	
		橋本 亜樹生	東海大学医学部付属八王子病院	13 地区	
		藤森 鐘	江陽台病院	14 地区	
		福田 朋好	医療法人財団 豊島健康診査センター	9 地区	
		舟木 勤	牧田総合病院	8 地区	
		藤村 拓未	東京女子医科大学病院	3 地区	
		星野 稔	都立府中病院	13 地区	
		堀越 良雄	聖マリアンナ医科大学病院	15 地区	賛
		松浦 重雄	慈恵会医大晴海トリートメントクリニック	2 地区	
		松本 秀樹		15 地区	賛
		八重沢 幸平		14 地区	賛
		山田 明敏		16 地区	賛
		藪 晶子	国立国際医療研究センター戸山病院	3 地区	
		吉田 昇二	ライフサイエンスクリニック	14 地区	
		渡辺 敬夫		4 地区	

東放技未加入の方にお伝えください

入会のご案内

ご不明な点は当会事務所TEL・FAX (03) 3806-7724までお問い合わせください。
ホームページからも入会手続きはできます。

技師会とは

公益社団法人東京都診療放射線技師会

公益社団法人東京都診療放射線技師会〔以下、(公社)東京都診療放射線技師会という〕は、東京都に在勤、または在住されている診療放射線技師及び診療エックス線技師をもって構成される職能団体です。本会は昭和22年に社団法人日本放射線技師会〔現 公益社団法人日本診療放射線技師会 以下、(公社)日本診療放射線技師会という〕が結成されたのを機に、地域放射線技師会として昭和25年に創設され、昭和55年10月に東京都より社団法人、平成24年4月より公益社団法人として認可されております。主な事業としては、各種学術講演会・研修会など会員の技術向上に関する事業、相互扶助に関する事業、機関紙『東京放射線』の発行、学術図書の出版など、多くの事業を精力的に行っております。

(公社)東京都診療放射線技師会は都内を城東、城西、城南、城北、多摩支部の5つに分け、さらに1から13地区および3分科会に区分し、それぞれの支部・地区での活動も活発に行われています。

現在の会員数は約2,100名(2010年度)を数え、日放技会員総数の1割弱を占める程の多数を擁しております。

<城東支部>

第1地区：千代田区
第2地区：中央区、台東区
第7地区：墨田区、江戸川区、江東区
千葉方面

<城西支部>

第3地区：新宿区
第9地区：板橋区、豊島区
第10地区：練馬区、中野区、杉並区

<城南支部>

第4地区：港区、渋谷区
第8地区：品川区、大田区
第11地区：世田谷区、目黒区
神奈川方面

<城北支部>

第5地区：文京区、北区
第6地区：足立区、葛飾区、荒川区
埼玉方面

<多摩支部>

第12地区：西東京市、清瀬市、東久留米市、小平市、東村山市、東大和市、武蔵村山市
第13地区：上記、第12地区以外の多摩地域

(公社)東京都診療放射線技師会と(公社)日本診療放射線技師会

現在、(公社)東京都診療放射線技師会のような地域技師会は都道府県ごとに存在し、(公社)日本診療放射線技師会と密接な関係を保ちながら、各々が多岐にわたる運動を展開しています。

(公社)東京都診療放射線技師会と(公社)日本診療放射線技師会では、目的とするもの・本質的な部位で差異はありません。しかし(公社)日本診療放射線技師会が厚生労働省・文部科学省をはじめとした国政レベルでの活動や、全国規模の関係諸団体との折衝によって技師会の目的を達成しようとするのに比べ、(公社)東京都診療放射線技師会は、(公社)日本診療放射線技師会への協力はもちろんですが、中央機関である(公社)日本診療放射線技師会では直接手の届きにくい、会員の皆様に密接した実務的な事業を多く展開しています。これは中央と地域の業務分担の必要性から、必然的に成り立ったものだといえます。そのために(公社)日本診療放射線技師会の入会資格には(公社)東京都診療放射線技師会をはじめとする都道府県技師会の会員である事が定められています。技師会に入会される場合には、原則として両方に入会して頂くことになりますのでご注意ください。

入会のすすめ

いまや放射線医療は急速に進歩し、社会のニーズも多岐にわたっております。そのニーズに応えるべく高度な知識・診療放射線技師として人格形成のため、技師会の組織を大いに活用して、有能なあなたの知識・アイデアを生かして、大きく飛躍しましょう。さらに自分達の職業の社会的地位向上のため、都民への啓発促進のため、一緒に努力してまいりましょう。

(公社) 東京都診療放射線技師会は、あなたのご入会をお待ちしております。

[入会資格]

正会員：(公社) 東京都診療放射線技師会に入会を希望される方は、診療放射線技師または診療エックス線技師免許を有する方で、東京都内に在住、または、東京都内に在勤している者。

賛助会員：正会員の資格を有しない者で、理事会の承認を得た者又は団体。

[入会手続き]

入会希望者は、入会申込書に所定の事項を記入の上、(公社) 東京都診療放射線技師会まで送付ください。また、入会申込書到着後、(公社) 東京都診療放射線技師会もしくは(公社) 日本診療放射線技師会より請求がなされますので、お振込みください。入会申込書と会費納入の確認があつての入会手続きとなります。

[会 費]

< (公社) 東京都診療放射線技師会 >

・新入会 (新卒、既卒を問わず)	5,000円
・再入会 (一度入会后、理由を問わず退会した者が再度入会する場合)	14,000円
・第2年度以降の年会費、および他道府県より転入初年度	11,000円

< (公社) 日本診療放射線技師会 >

・新卒新入会	5,000円
(技師免許取得年度に入会する者、内訳：入会金免除、年会費5,000円)	
・新入会 (上記以外、内訳：入会金5,000円、年会費15,000円)	2,000円
・第2年度以降の年会費	15,000円

[会員の特典]

- ◎ 本会の行う学術講演会、研修会、交流会等の各種行事への参加
- ◎ 月刊誌『東京放射線』の配布
- ◎ 新卒新入会員は、学術研修会等への参加費無料
 - * 新卒新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し、本会へ入会した会員をいう
- ◎ 正会員は本会運営に参画できる

[会員の義務]

- ◎ 年会費を毎年原則として年度当初に納入していただきます。
毎年9月末日までにその年度の会費を納入されず、万一、2年以上滞納した場合には会員としての資格を失い、退会処分となります。
- ◎ 本会定款および諸規程を遵守していただきます
- ◎ ご入会后は、積極的な参加をお願いいたします。

会誌入会申込書をコピーして使用していただくか、当会事務所に入会申込書をご請求ください。

入 会 申 込 書

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人 日本診療放射線技師会 殿

氏 名			
氏名(カタナ)			
氏名(英語)			
性 別		男性	女性
生年月日		昭和・平成	年 月 日 生
勤務先	勤務先名	部署	
	勤務先所在地	〒 ー	
	電 話		
自 宅	現住所	〒 ー	
	電 話		
	電 話		
本会よりの通信先		勤務先 ・ 自宅	
技師籍	資格取得	診療エックス線技師 ・ 診療放射線技師	
		第 回 国家試験合格	
		昭和・平成 年 月 日	
	技師籍登録	厚生労働省(厚生省) 第 号	
		昭和・平成 年 月 日	
学 歴	年 月	入学	
	年 月	卒業・修了	
	年 月		
技師職歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
関連免許	免許名	登録番号	登録年月日
			年 月
			年 月
			年 月
備 考			

受 付

理事会承認

入会通知

平成 年 月 日

平成 年 月 日 印

平成 年 月 日 印

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備 考			

FAX 03-3806-7724
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人 日本診療放射線技師会 殿

会員番号	
氏 名	印
氏名(フリガナ)	
性 別	男性 ・ 女性
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日 生

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓（変更後の氏名）	
------------	--

□送付先変更

現在の送付先	（ 勤務先 ・ 自宅 ）
新送付先	（ 勤務先 ・ 自宅 ）

□住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 ー
	電 話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 ー
	電 話	
旧自宅住所		

□その他

通信欄	
-----	--

受 付

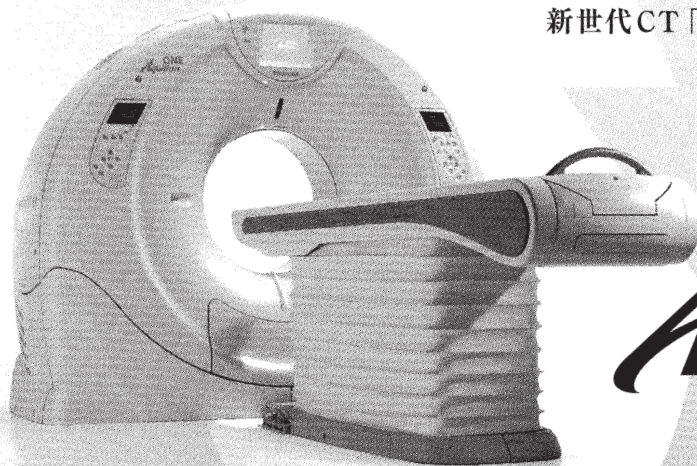
確 認

平成 年 月 日

平成 年 月 日 印

たった1回転で全脳が診える。心臓が診える。

Area Detectorが、1回転で全脳も心臓もフルカバー。
新世代CT「Aquilion ONE」の誕生です。



ONE
Aquilion
Area Detector CT



東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地 お問い合わせ先 03-3818-2170 (東京本社)
<http://www.toshiba-medical.co.jp>

承認番号: 219ACBZX00029000
東芝スキャナ Aquilion ONE TSX-301A

職員募集のお知らせ

- 採用職種** 診療放射線技師
- 勤務内容** MRI/1.5T、CT/64列MDCT、マンモグラフィ/FCR (50 μ)、胸部X-P/FPD
胃がん検診/所内-ADR 検診車-DR2台
- 勤務場所** (公財) 世田谷区立保健センター (〒154-0024 世田谷区三軒茶屋 2-53-16)
※検診車による事業のみ施設外従事あり、世田谷区内限定
- 募集人員** ①3年契約職員(常勤)1名、②非常勤職員(月16日勤務)1名
※現在常勤技師6名、非常勤技師2名
- 勤務時間** 土・日・祝日・年末年始(12/29-1/3) 除く①全日、②16日
①午前8時30分から午後5時15分(休憩1時間)、超過勤務あり、一部休日勤務あり
②午前8時30分から午後4時30分(7時間)
- 休日** 土・日曜日、祝日、年末年始 ①※ただし所定日数の範囲で土曜実施事業の勤務日あり
- 休暇** 年次有給休暇、夏季休暇ほか(年度単位)
- 給与等** ①月額211,500円～235,200円 ※①のみ賞与(年間3.5ヶ月分)
②月額231,000円 ※②のみマンモグラフィ撮影資格取得者には加算
- 手当等** (諸手当) 通勤手当、※①のみ特殊勤務手当支給
(福利厚生) 健康保険・厚生年金・労働保険、互助会あり
- 選考方法** ①筆記試験(教養・論文)、面接 ②書類及び面接選考
- 申込方法** ①履歴書事及び該当免許・資格証の写しを郵送または持参
②履歴書、自己推薦書(600字以内)を郵送または持参

(公財)世田谷区保健センター 採用担当/庶務・経理係 島田 TEL 03(3410)9101(代表)

Postscript

スマートフォン（スマホ）を利用し始めて1年過ぎたのですが、便利で手放せなくなってきました。ただ、携帯するパソコンとまで考えてしまうと不便を感じてしまいますので、ビューワなんだと自分に言い聞かせて使っています。それでも便利で最近ではスマホで見ることを想定してパソコンで使用しているデータもクラウドに保存するようにしています。パソコンとスマホ、両方で利用できるクラウドサービスも有料無料様々なものがあり、どれが便利かを考えながらいくつかのサービスを利用していますが、どれも一長一短があり使い分けて使用しています。それでも便利でスマホと複数のパソコンでファイル共有でき、USBメモリをほとんど使わなくなりました。ただ、データ流出には十分気をつけたいと思います。

〈すえぞう〉



■ 広告掲載社

カイゲンファーマ(株)
コニカミノルタヘルスケア(株)
シーメンス・ジャパン(株)
(公財)世田谷区保健センター
東芝メディカルシステムズ(株)
伏見製薬(株)
富士フイルムメディカル(株)

東京放射線 第60巻 第5号

平成25年4月25日 印刷（毎月1回1日発行）

平成25年5月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京 (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

中谷 麗

柴山豊喜

平田充弘

高橋克行